

令和4年度

野々市市の教育概要

野々市市教育委員会

令和4年8月

愛と和の市民憲章

遥かに霊峰白山を仰ぐ野々市市は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かなまちに住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに市民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよいまちをつくりましょう。

1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高いまちをつくりましょう。

1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るいまちをつくりましょう。

1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かいまちをつくりましょう。

1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかなまちをつくりましょう。



市花木 ツバキ

目 次

I. 市勢概況	5
1. 野々市市のあゆみ	5
2. 人口と世帯数の推移	6
3. 令和3年人口ピラミッド	6
II. 予算の概要	7
1. 野々市市一般会計予算の規模	7
2. 施策の大綱	7
3. 教育費予算の規模	7
4. 野々市市教育ユニバーサルプラン（教育振興基本計画）	7
5. 一般会計予算額の構成比	8
6. 教育費予算額の構成比	8
7. 教育予算歳出の状況	9
III. 教育目標及び基本方針	10
IV. 教育行政	11
1. 教育委員会会議	11
2. 総合教育会議	11
3. 教育委員会事務事業点検・評価	12
4. 教育委員会事務局機構図	13
V. 学校教育	14
1. 基本目標及び基本的施策	14
(1) 基本目標	14
(2) 基本的施策	14
2. 市立小・中学校教育目標	15
小学校・中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味	17
3. 学校教育施策体系	19
(1) 教育活動	20
(2) 児童・生徒	22
(3) 教育環境	23
(4) 研 修	25
4. 教育施設	26
(1) 学校施設	26
(2) 通学区域	27
(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	27
(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	28
(5) 特別支援学級の状況	28
(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	28
(7) 中学校卒業生進路状況	29
(8) 児童・生徒の推移	29
(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	30
(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	30
(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	30
(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数	31

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数	31
(14) 国際高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数	33
(15) 国際高等専門学校学科別生徒数	33
(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数	34
(17) 金沢工業大学学科別学生数	35
VI. 生涯学習	36
1. 基本目標及び基本的施策	36
(1) 基本目標	36
(2) 基本的施策	36
2. 生涯学習施策体系	37
(1) 生涯学習体制の整備	38
(2) 家庭教育の推進	38
(3) 青少年健全育成の推進	39
(4) 地域教育力の活性化	40
(5) 成人教育の充実	41
(6) 公民館・女性センター活動の充実	42
(7) 図書館活動（学びの杜ののいち）の充実	44
(8) 社会教育団体の支援	45
(9) 社会教育施設の管理	46
3. 青少年対策機構図	49
VII. 文化	50
1. 基本目標及び基本的施策	50
(1) 基本目標	50
(2) 基本的施策	50
2. 文化施策体系	50
(1) 文化遺産の保全と活用	51
VIII. スポーツ	57
1. 基本目標及び基本的施策	57
(1) 基本目標	57
(2) 基本的施策	57
2. スポーツ振興施策体系	58
(1) スポーツ振興体制の確立	59
(2) スポーツ活動の推進	59
(3) スポーツ団体の育成	61
3. 体育施設	66
(1) 社会体育施設	66
(2) 学校体育開放施設	69
資料	
各種委員会委員等	71
歴代教育委員	78
市内施設住所・電話番号一覧	80
市内施設配置図	81

I. 市 勢 概 況

1. 野々市市のあゆみ

霊峰白山を望む手取扇状地の扇中央部に位置する野々市市には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀銭「和同開珎」も発見されています。

中世においては、加賀守護として富樫氏が活躍し、富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

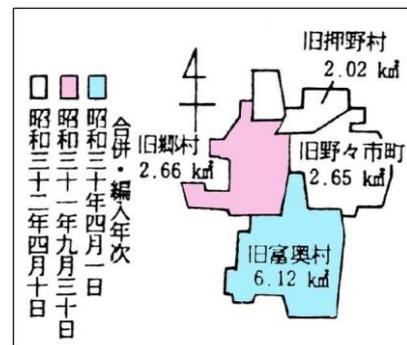
以来、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施行により急速に都市化が進む中、平成22年国勢調査で人口5万人を達成し、平成23年11月11日市制へと移行しました。

令和3年11月11日には、市制10周年を迎えました。これからも住む人が誇りと愛着を持ち、訪れる人が憧れを抱く「みんなに選ばれるまち」をめざして、未来を見据えた取り組みを行ってまいります。



市 章

昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、まちの融和と発展を象徴した簡潔清爽な意匠である。



野々市市は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない平坦地で北と東側を金沢市、南と西側を白山市とそれぞれ接しています。

北緯 36° 31' 45" 東西 4.5 km

東経 136° 37' 60" 南北 6.7 km

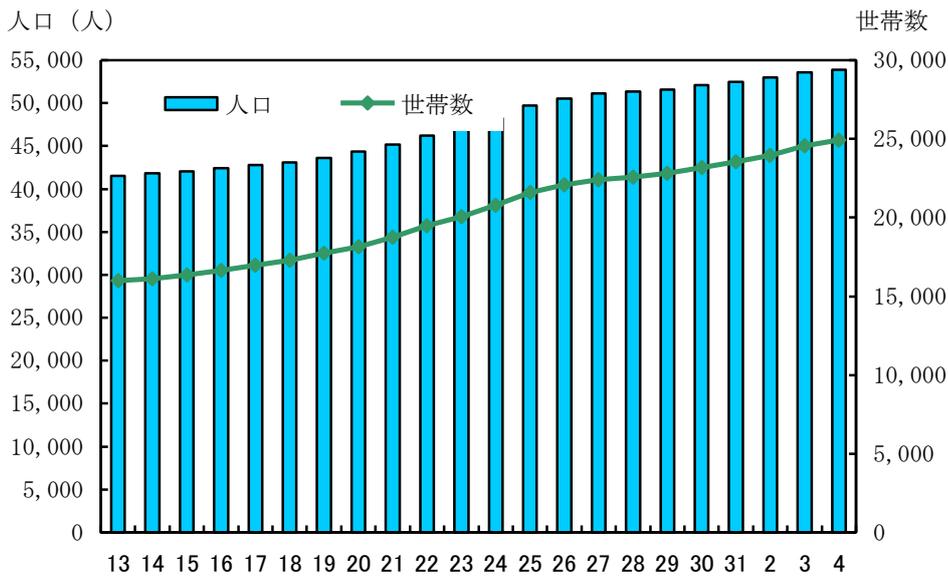
海拔最高/最低 49.6/8.4m

面積 13.56km² (国土地理院の調査による)

石川県面積に対する割合……0.32%

2. 人口と世帯数の推移

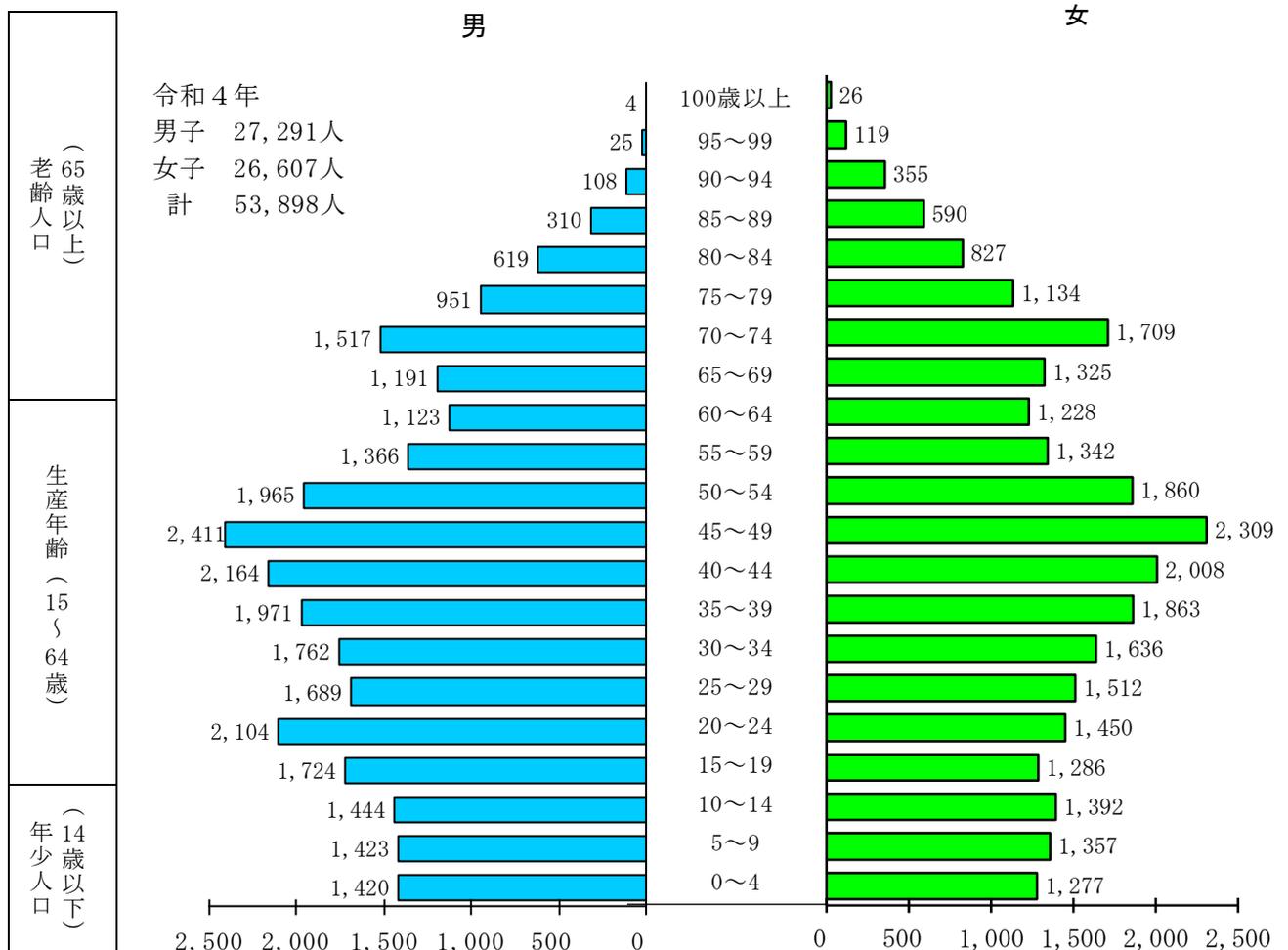
住民基本台帳より
各年3月31日現在



年	人口 (人)	世帯数
H13	41,549	15,994
H14	41,813	16,121
H15	42,069	16,343
H16	42,449	16,652
H17	42,795	16,952
H18	43,106	17,308
H19	43,627	17,726
H20	44,341	18,153
H21	45,192	18,768
H22	46,216	19,504
H23	46,948	20,042
H24	48,196	20,785
H25	49,710	21,601
H26	50,539	22,071
H27	51,155	22,391
H28	51,364	22,565
H29	51,612	22,802
H30	52,114	23,182
H31	52,469	23,562
R2	53,006	23,942
R3	53,592	24,542
R4	53,898	24,938

3. 令和4年人口ピラミッド

令和4年3月31日現在



II. 予算の概要

1. 野々市市一般会計予算の規模

令和4年度当初予算額	189億5,000万円	令和3年度当初予算額	190億円
対前年度比較	△5,000万円	増減率	0.3%の減

2. 施策の大綱

将来都市像「かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち」

【政策】

- 1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち【市民生活】
- 2 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】
- 3 みんなで取り組む安全・安心なまち【安全・安心】
- 4 環境を考え、みんなで行動するまち【環境】
- 5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち
【教育・生涯学習・文化・スポーツ】
- 6 みんなが働きたくなる、活気のあるまち【産業振興・地域振興】
- 7 暮らし充実 快適がゆきとどくまち【都市基盤】
- 8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち

【行財政運営】

3. 教育費予算の規模

令和4年度当初予算額	23億3,236万2千円	令和3年度当初予算額	22億5,446万6千円
対前年度比較	7,789万6千円	増減率	3.5%の増
対一般会計構成比	12.3%		

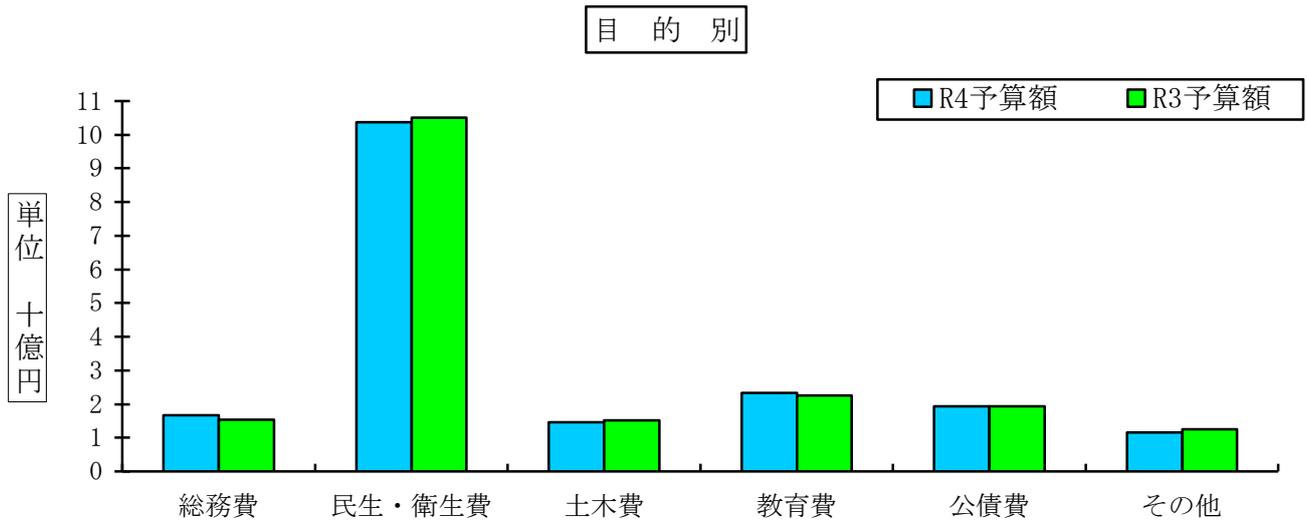
4. 野々市市教育ユニバーサルプラン（教育振興基本計画）

基本理念「学びと出会い 夢かなう まち」

【基本目標】

- 1 学校教育の充実
- 2 みんなで取り組む青少年の育成
- 3 生涯学習の充実
- 4 文化活動の充実
- 5 スポーツ活動の充実

5. 一般会計予算額の構成比

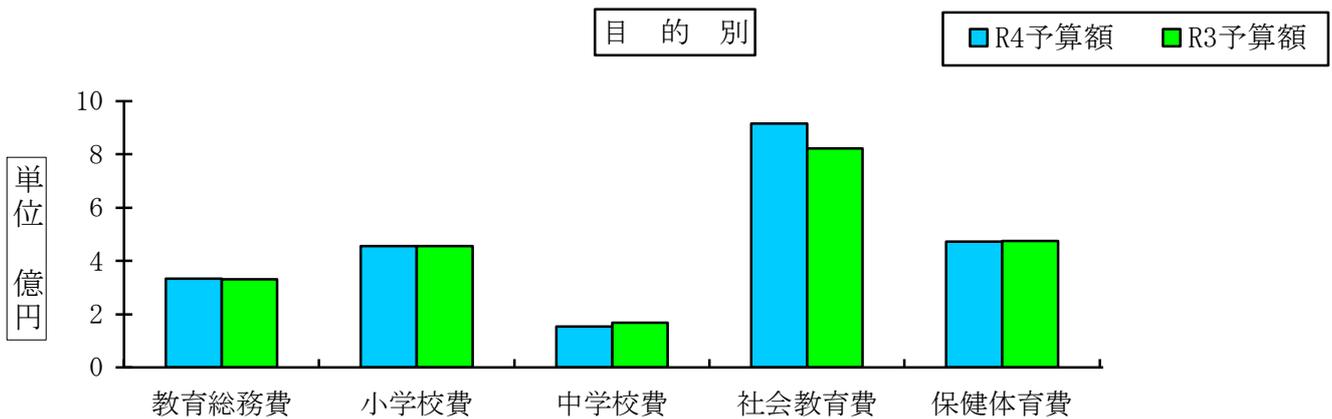


(単位: 千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減C A-B	増減率 C/B×100
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
総務費	1,669,968	8.8	1,538,467	8.1	131,501	8.5
民生・衛生費	10,374,849	54.8	10,505,733	55.2	△130,884	△1.2
土木費	1,462,171	7.7	1,517,360	8.0	△55,189	△3.6
教育費	2,332,362	12.3	2,254,466	11.9	77,896	3.5
公債費	1,934,723	10.2	1,929,553	10.2	5,170	0.3
その他	1,175,927	6.2	1,254,421	6.6	△78,494	△6.3
合 計	18,950,000	100.0	19,000,000	100.0	△50,000	△0.3

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

6. 教育費予算額の構成比



(単位: 千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減C A-B	増減率 C/B×100
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
教育総務費	333,984	14.3	331,559	14.7	2,425	0.7
小学校費	456,018	19.5	455,750	20.2	268	0.1
中学校費	153,242	6.6	168,135	7.5	△14,893	△8.9
社会教育費	916,651	39.3	822,486	36.5	94,165	11.4
保健体育費	472,467	20.3	476,536	21.1	△4,069	△0.9
合 計	2,332,362	100.0	2,254,466	100.0	77,896	3.5

7. 教育予算歳出の状況

(単位：千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A-B (C)	C/B ×100
教育費	2,332,362	100.00	2,254,466	100.00	77,896	3.46
1 教育総務費	333,984	14.32	331,559	14.71	2,425	0.73
1 教育委員会費	3,064	0.13	2,683	0.12	381	14.20
2 事務局費	262,110	11.24	277,236	12.30	△ 15,126	△ 5.46
3 事務局振興費	48,213	2.07	32,253	1.43	15,960	49.48
4 特別支援教育費	24	0.00	45	0.00	△ 21	△ 46.67
5 教育センター費	20,573	0.88	19,342	0.86	1,231	6.36
2 小学校費	456,018	19.55	455,750	20.21	268	0.06
1 管理費	237,476	10.18	242,921	10.77	△ 5,445	△ 2.24
2 教育振興費	218,542	9.37	212,829	9.44	5,713	2.68
3 中学校費	153,242	6.58	168,135	7.45	△ 14,893	△ 8.86
1 管理費	88,275	3.79	99,969	4.43	△ 11,694	△ 11.70
2 教育振興費	64,967	2.79	68,166	3.02	△ 3,199	△ 4.69
4 社会教育費	916,651	39.29	822,486	36.49	94,165	11.45
1 社会教育総務費	65,333	2.80	68,280	3.03	△ 2,947	△ 4.32
2 青少年教育費	19,166	0.82	11,232	0.50	7,934	70.64
3 社会教育振興費	121,836	5.22	121,004	5.37	832	0.69
4 図書館費	327,771	14.05	328,259	14.56	△ 488	△ 0.15
5 文化財保護費	265,222	11.37	172,284	7.64	92,938	53.94
6 文化振興費	117,323	5.03	121,427	5.39	△ 4,104	△ 3.38
5 保健体育費	472,467	20.26	476,536	21.14	△ 4,069	△ 0.85
1 保健体育総務費	52,798	2.26	57,382	2.55	△ 4,584	△ 7.99
2 保健体育施設費	126,181	5.41	135,217	6.00	△ 9,036	△ 6.68
3 保健体育振興費	17,434	0.75	21,439	0.95	△ 4,005	△ 18.68
4 給食センター費	276,054	11.84	262,498	11.64	13,556	5.16

Ⅲ. 教育目標及び基本方針（令和4年3月25日策定）

【教育目標】

未来を担う子供たちが健全に成長できるよう知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成をめざします。さらに市民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格の形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できる人づくりをめざします。

【基本方針】

1. 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けた児童生徒の育成をめざします。
2. 市民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図ります。
3. 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進めます。
4. 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに文化財の保護活用を進め、市民の地域文化に対する理解の深まりをめざします。
5. 芸術文化に親しむ機会を提供することにより、市民文化・市民芸術の活性化をめざします。
6. 生涯にわたり、健康でいきいきと生活するため、誰もが自ら気軽に参画できるスポーツ・レクリエーション活動などの推進に努めます。

IV. 教育行政

1. 教育委員会会議

各年12月末日現在（単位：回、件）

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
平成 29 年	12	2	31
平成 30 年	12	3	23
令和元年	12	2	19
令和 2 年	12	4	28
令和 3 年	12	3	30

2. 総合教育会議

年度	開催日	協議事項
平成 27 年度	8 月 31 日	・野々市市教育大綱の策定について
	12 月 22 日	・緊急の場合に講ずべき措置について
平成 28 年度	4 月 27 日	・教育の基本目標について
	12 月 22 日	・市教育振興基本計画の見直しについて ・市いじめ防止基本方針の骨子（案）について
平成 29 年度	7 月 31 日	・市教育大綱（案）について
	12 月 25 日	・学校教職員の多忙化解消について ・次期学習指導要領への移行について
平成 30 年度	8 月 22 日	・教職員の多忙化改善に向けた取り組み状況について ・平成 30 年度全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査の結果について ・小学校の英語教育について ・ブロック塀の緊急安全点検結果について
	2 月 25 日	・学校における ICT 環境の整備について ・配慮すべき家庭環境について ・学校教職員の多忙化解消について ・児童生徒数の推移について
令和元年度	12 月 25 日	・新学習指導要領に対応した教材整備について
令和 2 年度	12 月 23 日	・少人数学級に関する国の動きについて ・コミュニティ・スクールの設置について ・教職員の多忙化解消について

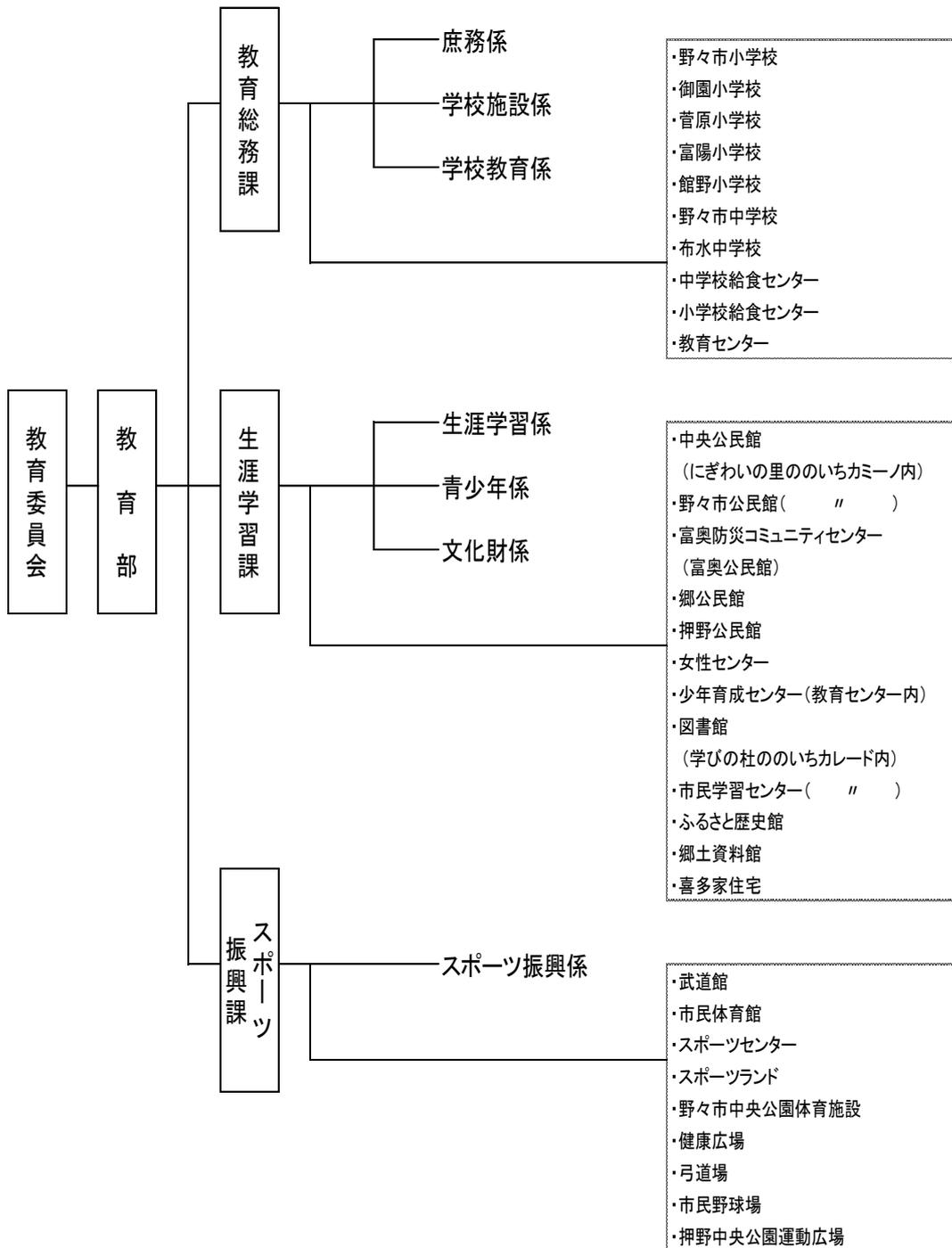
令和3年度	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育大綱（案）について ・児童生徒数の推移について ・学校体育館空調設備の設置について ・給食費等の公会計化について ・GIGA スクール構想に伴うタブレット端末等の効果的活用 ・教員の多忙化解消について ・児童生徒の問題行動・不登校の状況について ・コミュニティ・スクールについて
-------	--------	--

3. 教育委員会事務事業点検・評価

教育委員会の責任体制の明確化等を柱とした、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成20年4月1日に施行され、これにより「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること」が義務付けられました。

これに伴い、野々市市教育委員会では平成20年度より教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い公表しています。今後も委員会事業に伴う活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて市民にわかりやすく教育委員会活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本市の教育基本方針の実現に向け、教育の充実と振興をめざします。

4. 教育委員会事務局機構図



V. 学 校 教 育

1. 基本目標及び基本的施策（令和4年3月25日策定）

（1）基本目標

地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、確かな学力（知）、豊かな人間性（徳）、健康・体力（体）の調和のとれた育成をめざし、児童生徒に変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」を育成します。

（2）基本的施策

① 「確かな学力」を身に付けた児童生徒の育成

- ・ 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養に努めます。
- ・ 運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図ります。
- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努めます。

② 関わりの中で「豊かな人間性」を育てる教育の推進

- ・ いじめ・不登校への対策を推進します。
- ・ 9年間を見通した情報活用能力（情報モラル含む）育成計画を推進します。
- ・ 規範意識や他人を思いやる心を育む道徳教育を推進します。
- ・ 家庭や地域での体験活動、異年齢集団による活動、ボランティア活動、障害のある人や外国の人との交流などを推進します。

③ 教育指導体制の充実と教職員の資質向上

- ・ 教職員研修・教育相談・教育支援等の教育センター機能の充実に努めます。
- ・ 教職員の多忙化改善をはじめとした、持続可能な教育指導体制づくりに努めます。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善やカリキュラム・マネジメントの充実による教育活動の質の向上に努めます。

④ 教育環境の充実

- ・ 学校図書館の充実と利活用を推進します。
- ・ ICT環境の整備に取り組み、教科指導におけるICT活用と校務の情報化を推進します。
- ・ 児童生徒のため、より良い学習環境の施設整備に努めます。

⑤ 地域とともにある学校づくり

- ・ 家庭や地域の人々との協力、学校間の連携や交流を進めるなど、地域とともにある学校づくりに努めます。
- ・ 児童生徒や地域の実態を十分踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、活力ある学校づくりをめざします。

2. 市立小・中学校教育目標

野々市小学校

確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、たくましい子を育てる

- (1) 健康で やりぬく子
- (2) 心豊かな 考える子
- (3) よりよい社会を 築く子

御園小学校

未来をたくましく生きぬく人間の育成

- (1) やさしく（徳） 思いやりをもって、人とかかわる子
- (2) かしこく（知） 進んで学ぶ子
- (3) たくましく（体） 健康に関心を持ち、心と体を鍛える子

菅原小学校

ゆめに向かって 自ら学び 心豊かでたくましい 児童の育成

- (1) 考える子
- (2) 助け合う子
- (3) 粘り強い子

富陽小学校

「自ら考え、実践する子」の育成

- (1) 考える子
- (2) やさしい子
- (3) たくましい子

館野小学校

「心豊かでたくましく、すすんで学び合う子」の育成

- (1) 明るく
 - ・いつも笑顔で接し、友達を思いやり、力を合わせる子
- (2) 正しく
 - ・すすんで学び、高め合い、考えて正しく行動する子
- (3) たくましく
 - ・健康な体と心を持ち、最後までやりぬくたくましい子

野々市中学校

「自主」 「実践」 「友愛」

志を高くし、郷土を愛する生徒を育てる

〈教育方針〉

- (1) 人間尊重の精神を基盤として、生徒と教師、生徒相互が互いに認め合う温かい人間関係を育む。
- (2) 基礎基本の定着を図り活用力を育てるとともに、自ら学ぶ意欲を持った生徒を育てる。
- (3) 生徒を主体とした教育活動の実践に努め、望ましい人間関係を築く力や自主的な態度を育てる。
- (4) 学校と家庭、地域の連携を深め、学校や地域に誇りを持った生徒を育てる。

布水中学校

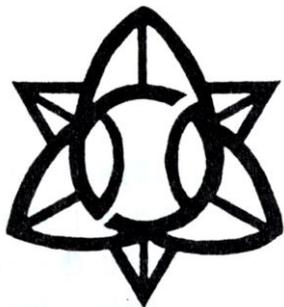
「 向上 独立 自律 友愛 公德 」

高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身に付けた生徒の育成

〈教育方針〉

- (1) 確かな学力と体力を身に付け、未来への創造に向かって、自らを高める意欲を持つ生徒の育成。
- (2) 義務と責任をわきまえ、自主独立の気質と行動力を持つ生徒の育成。
- (3) 正義を愛し、正しい判断力を持ち、厳しく自律することのできる生徒の育成。
- (4) 互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒の育成。
- (5) ルールを守り、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒の育成。

小学校の校名の由来、校旗及び校章の意味



市内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに市章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡ればますます強くなる麻の繊維のように、何ごとにもくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

野々市小学校

昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり、この校名が付けられました。翌年には、郷小学校が野々市小学校と統合しました。

校旗の色は、緑です。

御園小学校

当校の建設地一帯は、耕地整理前の立地は小高い丘であり、古老達はその一帯をみそと伝え聞いてきました。その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったということです。また、みそとは、過去に建畝穀田があったためと言われています。昔から親しまれてきた地名をとり、この校名が付けられました。

校旗の色は、青色です。

菅原小学校

昭和39年に、野々市町本町の一部からできた菅原町に当校を建設したため、一般に親しまれている地名をとり、この校名が付けられました。

また、菅原の地名は、平安時代に加賀権守を兼任した菅原道真公が、野々市のこの地を通過したとされることに由来しています。

校旗の色は、赤です。

富陽小学校

歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願って、この校名が付けられました。

校旗の色は、黄色です。

館野小学校

当校の運動場と隣接地は、古からタチナカと呼ばれ、中世に隆盛をとげた加賀国守護富樫一族の富樫一族の館が確認されました。校名は、このゆかりのある土地で児童が伸び伸びと健やかに育つことを願い名づけられました。

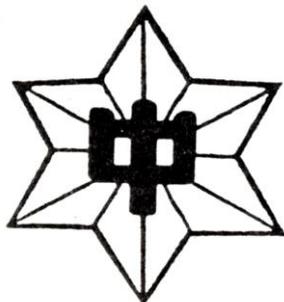
校旗の色は、紫です。

中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味

野々市中学校

昭和31年3月31日町村合併により、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり、昭和31年4月1日より新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままとってこの校名が付けられました。

翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市市は、古くは麻の栽培が盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い繊維で水を含むと更に強度を増します。また、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願い、その葉を図案化しました。

布水中学校

布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しく包み、また校舎の横を流れる木呂川は霊峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い、この校名が付けられました。

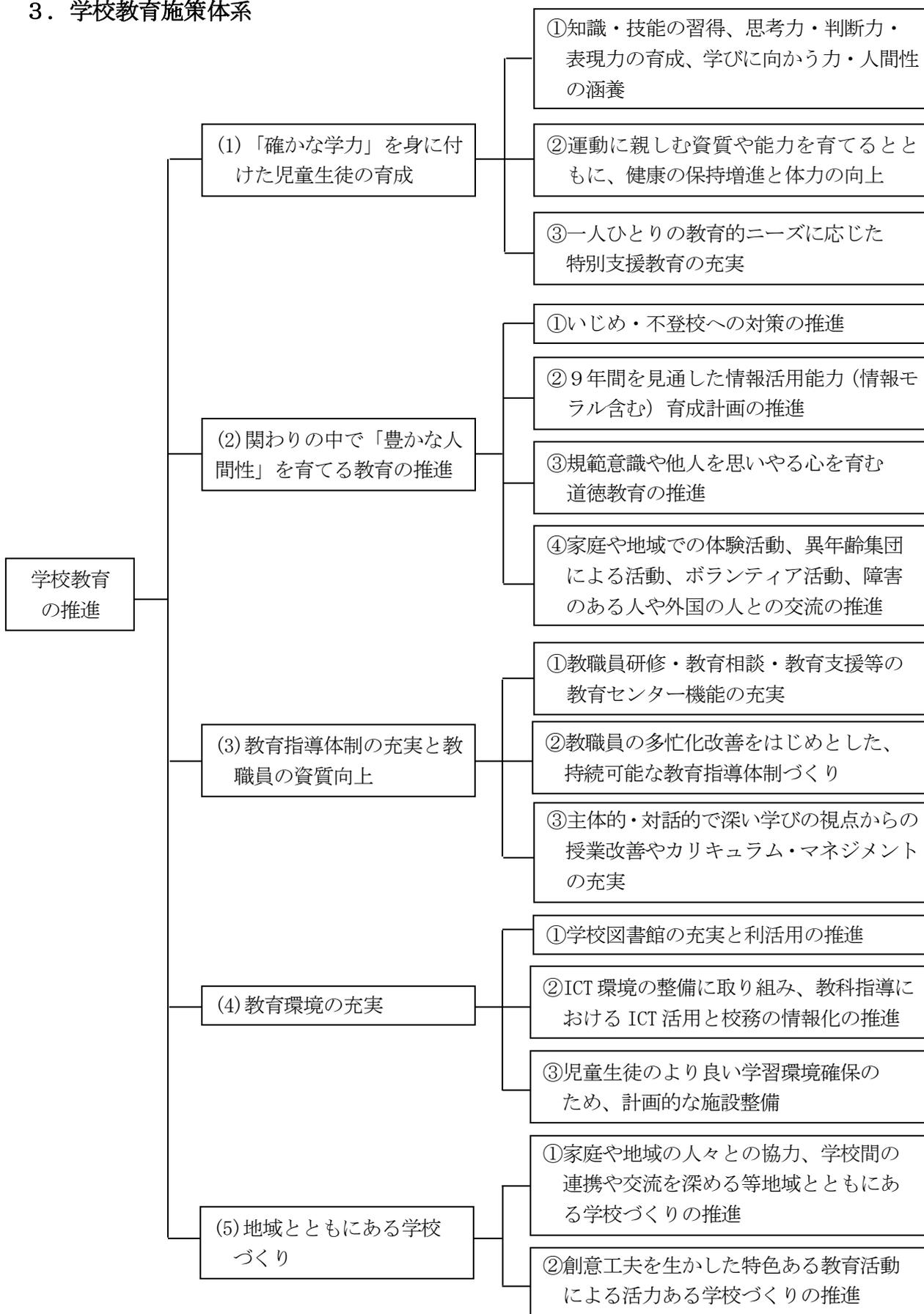
校旗はスクールカラーの水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長の形は、向上を表現しています。



襟章の色は、青は若い力、白は誠実、赤は友愛を表現しています。

3. 学校教育施策体系



(1) 教育活動

① 情報教育

ア 情報教育の環境整備

市内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備します。

平成20年度	小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新 小学校5校へ授業支援システムの導入と情報教育支援員の配置 小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入
平成21年度	全教職員に校務用コンピュータ配置
平成25年度	中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新
平成28年度	小中学校7校校務用コンピュータ更新
平成29年度	小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新 普通教室に電子黒板・タブレットの整備（4カ年計画）
平成30年度	普通教室に電子黒板・タブレットの整備（4カ年計画）
令和元年度	中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新 普通教室に電子黒板・タブレットの整備（4カ年計画）
令和2年度	普通教室にタブレットの整備（4カ年計画） 児童生徒1人1台端末環境の整備（GIGAスクール構想）
令和3年度	中学校普通教室に大型提示装置の整備
令和4年度	小中学校に授業者用タブレットを全教員へ整備 教育支援システムを全小中学校のタブレットに整備

イ 教育情報ネットワークの構築

平成21年度 小中学校全教職員にコンピュータを配置し、LANにより学校内での教育情報の共有化を図りました。

令和2年度より、小中学校全教職員及び全児童生徒に対して、学習用クラウドを利用するため1人につき1つの個人アカウントを配布しました。

令和3年度 小中学校全教職員が利用する統合型校務支援システムを導入し、校務の効率化を図りました。

② 特別支援教育

ア 特別支援教育支援員の配置

市内小中学校に25名配置。発達障害など個別に支援が必要な児童生徒を中心に支援します。

イ 特別支援教育専任指導主事の配置

令和4年度より教育委員会事務局に特別支援教育専任指導主事を配置しました。

③ 学校図書館

ア 小・中学校図書館の整備

学校図書館業務として、小中学校に学校司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実に努めます。

平成15年度	学校司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置
平成17年度	学校司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員へ雇用形態を変更）
平成20年度	小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入
平成28年度	中学校2校図書館コンピュータ等更新
平成29年度	小学校5校図書館コンピュータ等更新
平成30年度	野々市小学校図書館コンピュータ追加導入
令和元年度	小中学校7校図書館用コンピュータ等更新

④ 国際理解

ア 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校と深圳小学との友好校締結以来、交流事業を行っています。

平成23年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童11名	引率他10名
平成24年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	中止	
平成25年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他7名
平成26年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他10名
平成27年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他7名
平成28年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他11名
平成29年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童18名	引率他10名
平成30年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他9名
令和元年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童16名	引率他7名
令和2年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	中止	
令和3年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	中止	
令和4年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	中止	

イ 小学校英語教育の推進

新学習指導要領に対応するために、外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力の育成をめざします。

3～4年生 35時間の実施

5～6年生 70時間の実施

各校に1名、合計5名の外国語指導助手（ALT）を派遣。

ウ 外国語指導助手の招致（中学校）

外国語教育、とりわけ英語の教育は、国際化が進む環境の中でその重要性が高まっています。外国語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図ります。外国語指導助手（ALT）2名（中学校2校に1名ずつ）を派遣。

⑤ 生徒指導（いじめ・不登校等）

ア 派遣教育相談員配置事業

不登校およびその傾向にある児童生徒とその保護者に対し、教育相談や学校生活への適応指導にあたります。平成 24 年度から各中学校に、平成 29 年度から一部小学校にも配置し、令和 2 年度から全ての小中学校に常駐配置しております。

イ スクールカウンセラー活用事業

不登校やいじめなど児童生徒の問題行動等に対応するため、県派遣による臨床心理士等を、スクールカウンセラーとして全校に配置し、児童生徒へのカウンセリング、教職員や保護者への助言を行います。

ウ 教育相談

不安や悩みを抱える児童生徒や保護者の相談、児童生徒に関する様々な問題や保護者との関わり方に悩む教職員の相談を行います。

エ 教育支援センター「ふれあい教室」

悩みを抱えていたり、心が不安定で学校に居場所を失っていたりする児童生徒を支援します。自己のペースを取り戻し、安心できる居場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して社会性を身に付け、社会的自立や学校復帰をめざします。

(2) 児童・生徒

① 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行い義務教育の円滑な実施を図ります。

(令和 3 年度実績)	受給者数	支給総額
就学援助費	545 名	39,241 千円
入学準備支援金	80 名	4,470 千円
特別支援教育就学奨励費	42 名	3,285 千円



ふれあい教室



ふれあい教室

② 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施します。

令和4年度 学校保健事業（予定）

時期	事業	対象	
		小学校	中学校
4月	◎ 身体計測	全員	全員
4月	◎ 聴力検査	1年～5年	1年、3年
4月	◎ 視力検査	全員	全員
4月～9月	◎ 内科	全員	全員
	◎ 歯科検診	全員	全員
	◎ 耳鼻科検診	1年、4年	1年
	◎ 眼科検診	1年、問診により必要な者	問診により必要な者
	◎ 結核検診（問診）	全員	全員
6月	◎ 心臓検診	1年	1年
4月～5月	◎ 尿検査	全員	全員
6月～7月	◎ 血液検査（貧血・コレステロール・肝機能）	-	2年（希望）
9月	◎ 身体計測	全員	全員
9月～10月	◎ 就学時健診	就学予定者	-
1月	◎ 視力検査	全員	全員
1月	◎ 身体計測	全員	全員

③ 学校給食需要

安全・安心の学校給食の提供

地元産物の積極的活用

学校給食と連携した食に関する指導

平成26年9月よりすべての小中学校の給食をセンター化

平成27年1月より小学校給食センターでアレルギー除去食に対応

(3) 教育環境

① 教育環境

ア 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図ります。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第1期）
- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断
- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事

- ・平成18年度 館野小学校増築等工事、P F I 導入可能性調査
- ・平成19年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施方針等公表）
菅原小学校地震補強・大規模改造工事実施設計
富陽小学校音楽室エアコン設置工事
- ・平成20年度 菅原小学校地震補強等工事
御園小学校屋内運動場耐震診断
学校給食センター増築等工事実施設計
- ・平成21年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計）
野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施設計・建設工事）
菅原小学校地震補強等工事
学校給食センター増築等工事
御園小学校屋内運動場地震補強等工事実施設計
- ・平成22年度 野々市中学校屋内運動場耐震診断、地震補強等工事実施設計
野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 建設工事）
御園小学校屋内運動場地震補強等工事
野々市中学校屋内運動場地震補強等工事
富陽小学校増築等工事実施設計
- ・平成23年度 小学校給食センターP F I 導入可能性調査
富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 実施方針等公表）
館野小学校普通教室空調機器設置工事
- ・平成24年度 富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計・実施設計）
布水中学校大規模改造等工事（実施設計・工事）
野々市中学校校舎空調設置工事（実施設計）
野々市中学校障害者対策工事（実施設計・工事）
- ・平成25年度 野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 工事）
布水中学校大規模改造等工事（Ⅰ期）
野々市中学校校舎空調設置工事
野々市中学校障害者対策工事
- ・平成26年度 野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 工事）
館野小学校保健室空調機取替え
富陽小学校手摺り設置工事
布水中学校大規模改造工事（Ⅱ期）
野々市中学校防排煙設備更新
- ・平成27年度 御園小学校教室改造工事
御園小学校職員室等改修工事
御園小学校障害者対策工事
- ・平成28年度 御園小学校空調設置工事
菅原小学校プールろ過機取替工事
野々市小学校校舎増築工事（P F I 事業）
野々市小学校、野々市中学校天井等落下防止対策工事

- ・平成29年度 館野小学校大規模改造工事（Ⅰ期）
野々市中学校プールろ過機取替工事
- ・平成30年度 館野小学校大規模改造工事（Ⅱ期）
御園小学校校舎増築工事
御園小学校トイレ改修工事
ブロック塀改修工事（御園小、館野小、野々市中、布水中）
- ・令和元年度 野々市中学校トイレ改修工事
野々市中学校職員室拡張工事
- ・令和2年度 校内通信ネットワーク整備工事

イ 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図ります。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

ウ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実に努めます。

② 幼児教育の助成

ア 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行います。

(令和3年度実績)	受給者数	支給総額
子育てのための施設等利用給付費	476名	116,935千円
実費徴収補足給付費	86名	3,025千円

(4) 研 修

① 教職員研修

今日的教育課題に対応する力や研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図ります。

- ・学校経営研修 ・初任者研修 ・対応力指導力向上研修 ・学校研究研修
- ・授業づくり研修 ・教育相談コーディネーター研修 ・ICT活用研修
- ・特別支援教育支援員研修 など

4. 教育施設

(1) 学校施設

(令和4年5月1日現在)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造	規模 (保有面積)
小学校	野々市小学校	昭和36年4月	16,620㎡	校舎 R4階 体育館 R	8,498㎡ 1,571㎡
	御園小学校	昭和53年4月	19,937㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,815㎡ 1,410㎡
	菅原小学校	昭和56年4月	17,534㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,755㎡ 1,667㎡
	富陽小学校	昭和57年4月	21,757㎡	校舎 R3階 体育館 R	8,572㎡ 1,875㎡
	館野小学校	昭和59年4月	19,378㎡	校舎 R4階 体育館 R	5,802㎡ 1,489㎡
中学校	野々市中学校	昭和31年4月	24,016㎡	校舎 R4階 体育館 R	7,938㎡ 2,163㎡
	布水中中学校	昭和59年4月	28,262㎡	校舎 R4階 体育館 R	7,233㎡ 2,199㎡
中学校給食センター 小学校給食センター		平成15年4月 平成26年8月	7,238㎡	R2階 S2階	1,399㎡ 1,830㎡
教育センター		平成5年3月	546㎡	R2階	644㎡

公立学校施設の実態調査より（教育センター除く）



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中中学校



小学校給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学 校 名	通 学 区 域
野々市小学校 本町五丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町四～六丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納一～三丁目、位川、太平寺一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、郷町、郷一～二丁目、蓮花寺町、柳町、徳用一～三丁目
御園小学校 稲荷四丁目128番地 ☎ 248-3201	稲荷一～四丁目、三日市一～三丁目、二日市一～五丁目、二日市町、長池、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町二～三丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作一～四丁目
富陽小学校 中林五丁目70番地 ☎ 246-4380	上林一～五丁目、中林一～五丁目、末松一～三丁目、藤平、藤平田一～二丁目、清金一～三丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、栗田一～六丁目
館野小学校 押野三丁目71番地 ☎ 248-0622	本町一丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野一～七丁目
野々市中学校 三納三丁目1番地 ☎ 246-0115	本町五丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納一～三丁目、藤平、位川、清金一～三丁目、末松一～三丁目、太平寺一～四丁目、栗田一～六丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、藤平田一～二丁目、中林一～五丁目、上林一～五丁目、矢作一～四丁目
布水中学校 押野二丁目100番地 ☎ 248-0039	本町一～四丁目、本町六丁目、若松町、横宮町、高橋町、稲荷一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、三日市一～三丁目、二日市町、二日市一～五丁目、徳用一～三丁目、郷町、郷一～二丁目、蓮花寺町、柳町、長池、押野一～七丁目、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目

(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

令和4年5月1日現在 学校基本調査より(単位:人)

区 分	学級数	児 童 生 徒 数			教 員 数			職 員 数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	33(4)	497	474	971	18	37	55	5
御園小学校	23(2)	330	316	646	13	20	33	4
菅原小学校	18(5)	233	222	455	11	15	26	5
富陽小学校	29(4)	428	416	844	13	36	49	6
館野小学校	15(2)	194	211	405	11	13	24	4
小学校計	118(17)	1,682	1,639	3,321	66	121	187	24
野々市中学校	25(3)	409	384	793	29	25	54	6
布水中学校	25(3)	404	385	789	22	23	45	5
中学校計	50(6)	813	769	1,582	51	48	99	11
合 計	168(23)	2,495	2,408	4,903	117	169	286	35

※注1 () は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学校数	学級数	児童数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
平成30	5	120(14)	1,700	1,631	3,331	71	98	169	—	20	20
令和元	5	119(13)	1,735	1,665	3,400	65	112	177	—	20	20
2	5	119(15)	1,748	1,642	3,390	70	110	180	—	21	21
3	5	120(17)	1,724	1,638	3,362	72	115	187	1	22	23
4	5	118(17)	1,682	1,639	3,321	66	121	187	1	23	24

※注1 () は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(5) 特別支援学級の状況

令和4年5月1日現在(単位:人)

学校名	種別	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	2	13	2
	自閉症・情緒障害	2	13	2
御園小学校	知的障害	1	7	1
	自閉症・情緒障害	1	4	1
菅原小学校	知的障害	1	7	1
	自閉症・情緒障害	2	9	2
	肢体不自由	1	2	1
	弱視	1	3	1
富陽小学校	知的障害	2	10	2
	自閉症・情緒障害	1	3	1
	肢体不自由	1	1	1
館野小学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	4	1
野々市中学校	知的障害	1	5	1
	自閉症・情緒障害	1	6	1
	病弱	1	1	1
布水中学校	知的障害	2	9	2
	自閉症・情緒障害	1	7	1

(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学校数	学級数	生徒数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
平成30	2	44(6)	697	684	1,381	43	43	86	—	8	8
令和元	2	45(6)	706	700	1,406	42	44	86	—	10	10
2	2	46(5)	733	719	1,452	44	47	91	—	10	10
3	2	49(6)	794	744	1,538	47	49	96	—	11	11
4	2	50(6)	813	769	1,582	51	48	99	—	11	11

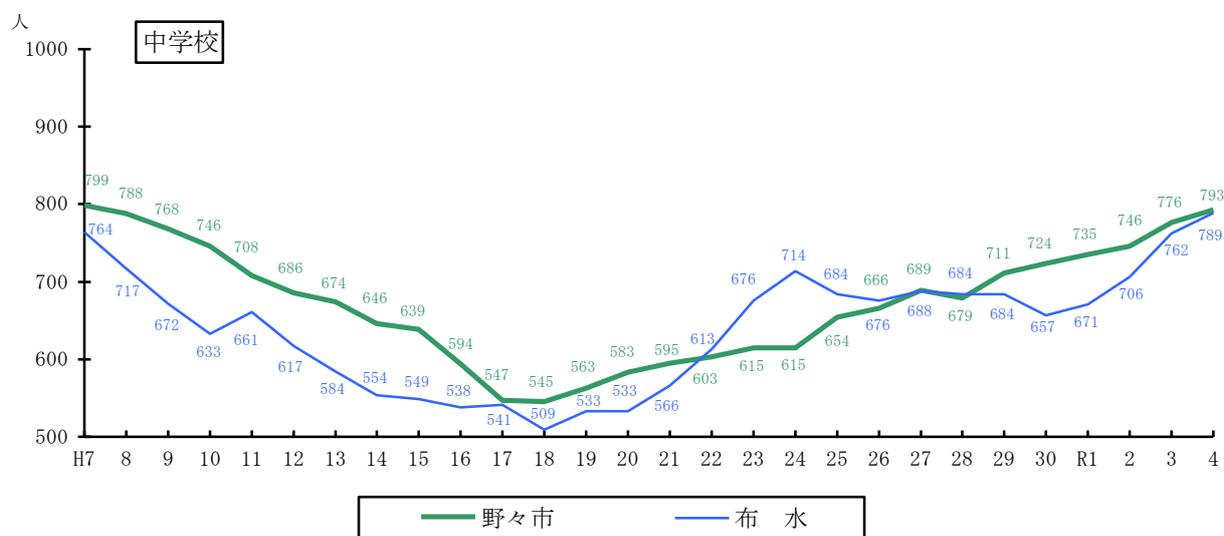
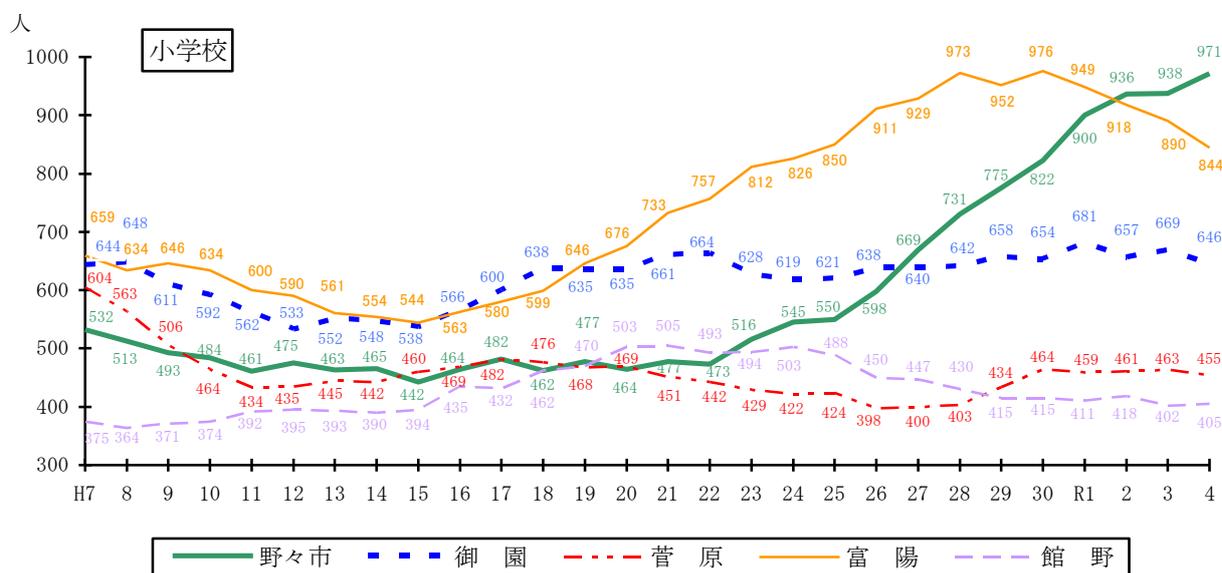
※注1 () は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在 (単位:人)

年	卒業生計 (B+C+D +E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就 職 者 E	無業者・ そ の 他 F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G		高等学校 等進学率 〔B/A〕	就職率 〔(E+G)/A〕
							B のうち	C、D のうち		
平成30	468	464	-	-	1	2	-	-	99.1	0.2
令和元	450	447	1	-	-	2	-	-	99.3	0
2	481	478	-	-	1	2	-	-	99.4	0.2
3	451	449	-	-	-	2	-	-	99.5	0
4	476	474	-	-	1	1	-	-	99.5	0.2

(8) 児童・生徒の推移 (各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇が丘幼稚園 北陸学院	平成30	4	37	50	87	-	11	11	-	1	1
	令和元	4	39	50	89	-	10	10	-	1	1
	2	4	39	45	84	-	11	11	-	2	2
	3	4	44	49	93	-	13	13	-	2	2
	4	4	48	46	94	-	11	11	-	1	1
青竜第二幼稚園	平成30	8	62	51	113	-	19	19	1	-	1
	令和元	8	58	47	105	-	19	19	1	-	1
	2	8	61	39	100	-	18	18	1	-	1
	3	7	47	30	77	1	17	18	1	-	1
	4	4	49	28	77	1	16	17	1	-	1

資料: 北陸学院扇が丘幼稚園(臨時職員を含む)・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※平成22年4月1日より開校

各年5月1日現在(単位:人)

年度	部門名	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
			男	女	総数	男	女	総数	
平成30	肢体不自由教育	7	5	5	10	57	95	152	24
	知的障害教育	58	226	88	314				
令和元	肢体不自由教育	6	7	6	13	53	100	153	21
	知的障害教育	58	235	94	329				
2	肢体不自由教育	4	4	4	8	54	96	150	20
	知的障害教育	60	242	98	340				
3	肢体不自由教育	4	3	7	10	58	102	160	22
	知的障害教育	60	242	98	340				
4	肢体不自由教育	5	2	8	10	65	101	166	23
	知的障害教育	66	248	107	355				

資料: 石川県立明和特別支援学校

(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
平成30	22	443	433	876	44(3)	13(5)	57(8)	8
令和元	21	413	417	830	40(1)	20(4)	60(5)	8
2	21	415	399	814	41(1)	20(1)	61(2)	8
3	20	394	383	777	36(6)	17(3)	53(9)	11
4	20	408	368	776	37(5)	18(3)	55(8)	11

資料: 石川県立野々市明倫高等学校

※注()内は講師で外数

(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
平成30	312	294	606	55	8	63	22
令和元	299	297	596	56	10	66	22
2	290	280	570	56	10	66	22
3	285	310	595	57	9	66	22
4	280	322	602	57	9	66	23

資料: 石川県公立大学法人石川県立大学

※注 学生数に院生数を含む。

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数

学部

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学 部 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	総 数
平成 30	生物資源 環境学部	総数	139	135	148	136	558
		生産科学科	46	46	51	44	187
		環境科学科	46	47	49	52	194
		食品科学科	47	42	48	40	177
令和元	生物資源 環境学部	総数	129	138	144	141	552
		生産科学科	41	46	49	47	183
		環境科学科	42	46	48	49	185
		食品科学科	46	46	47	45	184
2	生物資源 環境学部	総数	131	128	145	132	536
		生産科学科	41	41	49	43	174
		環境科学科	46	41	48	45	180
		食品科学科	44	46	48	44	182
3	生物資源 環境学部	総数	140	130	136	141	547
		生産科学科	45	41	42	48	176
		環境科学科	49	46	45	47	187
		食品科学科	46	43	49	46	184
4	生物資源 環境学部	総数	141	139	137	135	552
		生産科学科	46	45	42	43	176
		環境科学科	47	49	51	44	191
		食品科学科	48	45	44	48	185

資料: 石川県公立大学法人石川県立大学

大学院

各年5月1日現在(単位:人)

年度	研究科名	学科名	1年	2年	3年	総数
平成30	生物資源環境学 研究科	総数	23	22	3	48
		博士前期課程	20	19	-	39
		生産科学専攻	6	2	-	8
		環境科学専攻	6	3	-	9
		食品科学専攻	4	6	-	10
		応用生命科学専攻	4	8	-	12
		博士後期課程	3	3	3	9
		自然人間共生科学専攻	2	2	3	7
		生物機能開発科学専攻	1	1	-	2
令和元	生物資源環境学 研究科	総数	18	22	3	43
		博士前期課程	15	19	-	34
		生産科学専攻	2	5	-	7
		環境科学専攻	5	6	-	11
		食品科学専攻	5	3	-	8
		応用生命科学専攻	3	5	-	8
		博士後期課程	3	3	3	9
		自然人間共生科学専攻	2	2	2	6
		生物機能開発科学専攻	1	1	1	3
2	生物資源環境学 研究科	総数	10	20	4	34
		博士前期課程	10	17	-	27
		生産科学専攻	2	2	-	4
		環境科学専攻	1	6	-	7
		食品科学専攻	6	5	-	11
		応用生命科学専攻	1	4	-	5
		博士後期課程	-	3	4	7
		自然人間共生科学専攻	-	2	2	4
		生物機能開発科学専攻	-	1	2	3
3	生物資源環境学 研究科	総数	29	13	4	46
		博士前期課程	25	11	-	36
		生産科学専攻	9	2	-	11
		環境科学専攻	7	2	-	9
		食品科学専攻	6	6	-	12
		応用生命科学専攻	3	1	-	4
		博士後期課程	4	2	4	10
		自然人間共生科学専攻	2	2	2	6
		生物機能開発科学専攻	2	-	2	4
4	生物資源環境学 研究科	総数	16	30	4	50
		博士前期課程	16	26	-	42
		生産科学専攻	4	9	-	13
		環境科学専攻	7	8	-	15
		食品科学専攻	4	7	-	11
		応用生命科学専攻	1	2	-	3
		博士後期課程	0	4	4	8
		自然人間共生科学専攻	0	2	3	5
		生物機能開発科学専攻	0	2	1	3

資料:石川県公立大学法人石川県立大学

(14) 国際高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

※平成30年4月1日より名称変更

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
平成30	13	346	36	382	55	11	66	18
令和元	11	264	29	293	54	11	65	20
2	9	181	22	203	47	11	58	18
3	8	94	17	111	45	10	55	20
4	6	42	10	52	34	10	44	16

資料：国際高等専門学校

(15) 国際高等専門学校学科別生徒数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学科名	1年	2年	3年	4年	5年	総数
平成30	総数	12	81	100	106	83	382
	電気電子工学科	-	26	26	30	31	113
	機械工学科	-	25	30	37	26	118
	グローバル情報学科	-	30	44	39	-	113
	グローバル情報工学科	-	-	-	-	26	26
	国際理工学科	12	-	-	-	-	12
令和元	総数	13	12	77	92	99	293
	電気電子工学科	-	-	28	21	25	74
	機械工学科	-	-	24	29	35	88
	グローバル情報学科	-	-	25	42	39	106
	グローバル情報工学科	-	-	-	-	-	-
	国際理工学科	13	12	-	-	-	25
2	総数	15	10	11	74	93	203
	電気電子工学科	-	-	-	26	20	46
	機械工学科	-	-	-	24	29	53
	グローバル情報学科	-	-	-	24	44	68
	国際理工学科	15	10	11	-	-	36
3	総数	9	12	9	10	71	111
	電気電子工学科	-	-	-	-	24	24
	機械工学科	-	-	-	-	23	23
	グローバル情報学科	-	-	-	1	24	25
	国際理工学科	9	12	9	9	-	39
4	総数	17	9	10	6	10	52
	電気電子工学科	-	-	-	-	0	0
	機械工学科	-	-	-	-	0	0
	グローバル情報学科	-	-	-	-	1	1
	国際理工学科	17	9	10	6	9	51

資料：国際高等専門学校

(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在(単位:人)

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
平成30	6,192	831	7,023	298	34	332	225
令和元	6,100	834	6,934	300	34	334	218
2	6,123	858	6,981	290	34	324	217
3	5,989	860	6,849	279	33	312	215
4	5,888	908	6,796	287	37	324	216

資料: 金沢工業大学

(17) 金沢工業大学学科別学生数

5月1日現在(単位:人)

年度	学部・学科名等		1年次	2年次	3年次	4年次	その他	計	
令和4	学部	工学部	機械工学科	203	164	198	213	-	778
			航空システム工学科	44	37	58	53	-	192
			ロボティクス学科	87	90	116	109	-	402
			電気電子工学科	270	178	261	247	-	956
			情報工学科	273	220	215	244	-	952
			環境土木工学科	106	77	92	98	-	373
		環境・建築学部	建築デザイン学科	-	-	-	3	-	3
			建築学科	-	-	-	2	-	2
		情報フロンティア学部	メディア情報学科	175	159	161	145	-	640
			経営情報学科	83	58	93	65	-	299
			心理科学科	41	48	48	49	-	186
			心理情報学科	-	1	-	-	-	1
		建築学部	建築学科	238	228	235	206	-	907
		バイオ・化学部	応用化学科	83	55	62	77	-	277
			応用バイオ学科	80	66	73	88	-	307
		計			1,527	1,650	1,541	1,580	-
	大学院	博士前期課程 (修士課程)	機械工学専攻	57	74	-	-	-	131
			環境土木工学専攻	11	5	-	-	-	16
			情報工学専攻	17	17	-	-	-	34
			電気電子工学専攻	49	42	-	-	-	91
			システム設計工学専攻	14	14	-	-	-	28
			バイオ・化学専攻	21	12	-	-	-	33
			建築学専攻	24	25	-	-	-	49
			高信頼ものづくり専攻	6	5	-	-	-	11
			ビジネスアーキテクト専攻	2	3	-	-	-	5
			臨床心理学専攻	6	5	-	-	-	11
			イノベーションマネジメント専攻	61	-	-	-	-	61
		計			268	202	-	-	470
		博士後期課程 (博士課程)	機械工学専攻	-	1	4	-	-	5
			環境土木工学専攻	1	-	2	-	-	3
			情報工学専攻	-	-	1	-	-	1
			電気電子工学専攻	2	2	-	-	-	4
			システム設計工学専攻	-	-	3	-	-	3
バイオ・化学専攻	-		1	-	-	-	1		
建築学専攻	-		-	-	-	-	-		
高信頼ものづくり専攻	-	1	-	-	-	1			
計			3	5	10	-	18		
学部研究生			-	-	-	-	-	-	
学部科目等履修生			-	-	-	-	4	4	
大学院研究生			-	-	-	-	1	1	
大学院科目等履修生			-	-	-	-	28	28	
大学院科目等履修生(特別聴講学生)			-	-	-	-	-	-	
計			-	-	-	-	33	33	
社会人共学者・科目等履修生(学部)			-	-	-	-	-	0	
社会人共学者・科目等履修生(大学院)			-	-	-	-	-	0	
計			-	-	-	-	0	0	
学部・大学院・研究生・科目等履修生 総合計								6,796	

VI. 生涯学習

1. 基本目標及び基本的施策（令和4年3月25日策定）

（1）基本目標

自らが生きがいのある充実した生活を送るため、全ての市民が自主的に生涯にわたって学習を継続できる体制整備を推進します。

家庭や地域の教育力の充実を図りながら、子どもたちの他人を思いやる心や、たくましい心などの生きる力の醸成をめざします。

（2）基本的施策

① 家庭教育・子育て支援の充実

- ・ 家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的な生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します。
- ・ 家庭の教育力を高めるため、保護者を対象にした学習機会の充実に努めるとともに、子育てに関する支援と相談体制の充実を図るため、家庭教育サポーターの育成に努めます。

② 青少年の健全育成

- ・ 青少年の健全育成の課題について調査・研究に努めます。
- ・ 成人式や立志式の開催を通して、自立し大人社会への仲間入りをするものの自覚を促すなど青少年の社会参加活動を推進します。
- ・ 子どもの問題行動を抑止し、子どもを有害環境から守る取り組み、子どもたちのたくましく生きる力や豊かな人間性を育む取り組みを推進します。
- ・ 子ども会育成連絡協議会やPTA連合会など、社会教育団体の活動を支援します。
- ・ 青少年ボランティア団体の活動を支援します。

③ 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

- ・ 放課後子ども教室など、地域における安全で安心な子どもの居場所づくりに取り組みます。
- ・ 学校・家庭・地域との連携を図り、「ののいちっ子を育てる」市民会議」を中心として、健全育成事業を推進します。
- ・ 新規事業であるコミュニティ・スクールの円滑な実施を推進します。
- ・ 地元企業や大学と連携して、地域の教育活動の活性化を図ります。

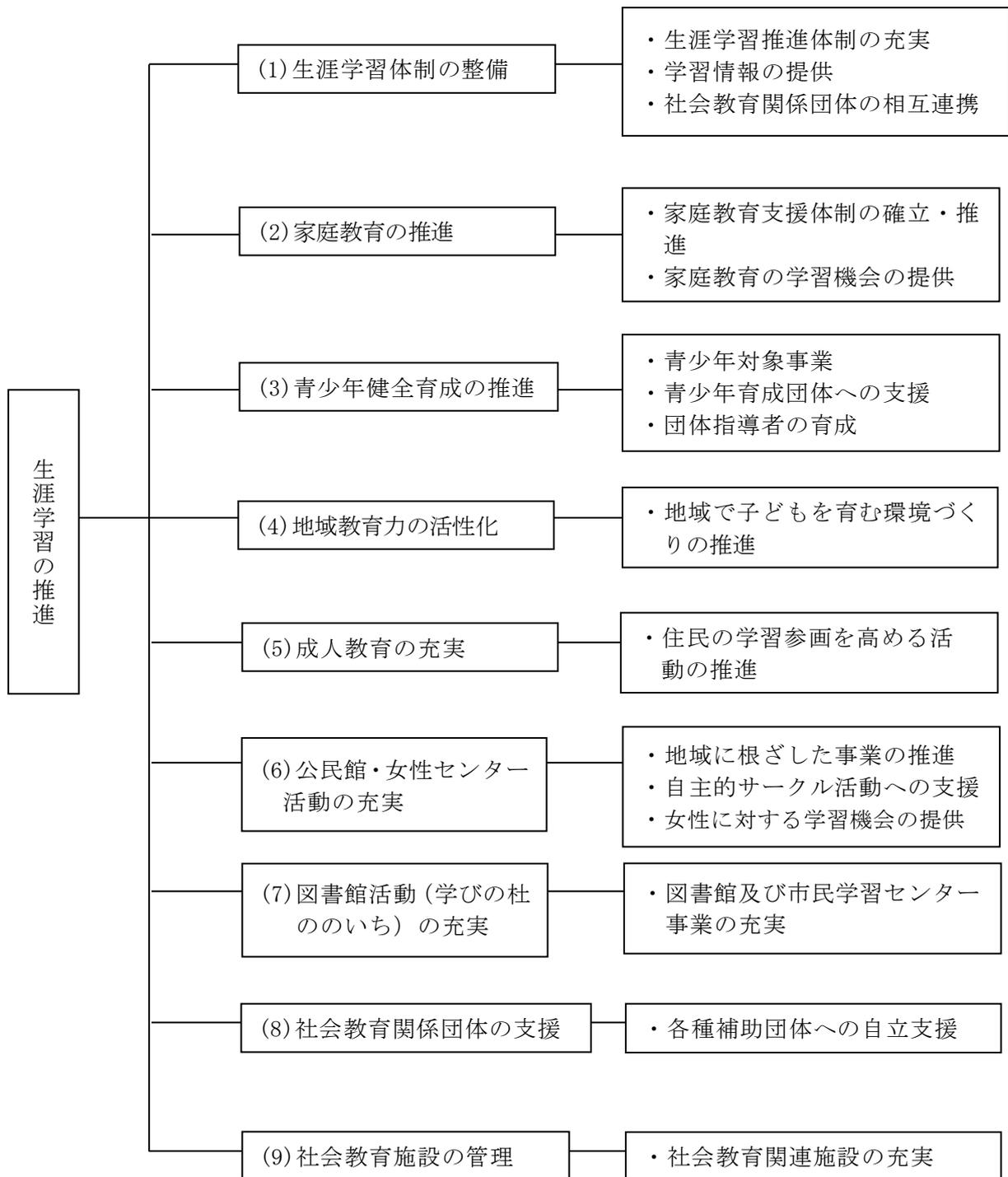
④ 生涯教育と社会参画の推進

- ・ 公民館では、地域の学習拠点として、特色ある事業の推進に努めます。
- ・ 図書館及び市民学習センターが、誰もが利用しやすい知の拠点としての機能を果たすよう、より良い運営に努めます。
- ・ 自身の知識や企画力などを活用できる学びのサポーターや、事業企画推進員などの地域の人材の発掘・登用を進め、地域社会の活性化に努めます。
- ・ スカウト育成会、女性団体など、社会教育関係団体の自立した活動を支援します。

⑤ 生涯学習環境の活性化

- ・ 「学びの杜ののいち カレード」と「にぎわいの里ののいち カミーノ」の連携・活用を図り、市民がより活発に活躍できる場を提供します。

2. 生涯学習施策体系



(1)生涯学習体制の整備

- ① 生涯学習推進体制の充実
 - ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
 - ・社会教育委員会議の開催
- ② 各種社会教育団体への加入と連携
 - ・県…県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館連合会
- ③ 学習情報の提供
 - ・「生涯学習情報」の市広報紙掲載
(各施設にて原稿作成「学びの絆で地域力を高める」年4回、4・7・10・1月)
 - ・「公民館サークル情報」の発行(年1回、5月)
 - ・市広報紙、市ホームページ、市Facebook、市Instagram、市地域ポータルサイト、えふえむ・エヌ・ワン等の活用

(2)家庭教育の推進

- ① 家庭教育支援体制の確立
 - ・家庭教育推進協議会の開催
 - ・家庭教育サポーターの設置
地域において保護者に対する支援活動
- ② 学習体制の整備
幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供します。

事業名	対象	参加予定人数	回数	内容
家庭教育学級 (全小中学校PTA)	小・中学生 の保護者	1回あたり 50人程度	1校あたり 1回以上	市PTA連合会に委託 家庭教育の向上をめざし、 保護者の学習機会の拡充を 図る。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	園児の保護 者	1回あたり 30人程度	1園あたり1回	幼児期の家庭教育の重要性 を学ぶ。
就学時健診子育て講座 (全小学校)	就学前児童 の保護者	1回あたり 120人程度	5回 (1校あたり1回)	就学時健診の機会を活用し て、全ての保護者へ学習機 会を提供する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学 前の生徒の 保護者	1回あたり 240人前後	2回 (1校あたり1回)	中学校入学説明会の機会を 活用して、全ての保護者へ 学習機会を提供する。



幼児家庭教育講座



就学時健診子育て講座

(3) 青少年健全育成の推進

—「青少年対策機構図」は49ページ参照—

① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を超えた仲間づくりを進めます。

事業名	対象	募集定員	内容	場所
青少年自然体験事業 ～とびだせ！アウトドア KIDS～	小学3年生 ～ 小学6年生	12人	自然教室年2回、日帰り)	未定
学びのサポーターとつくる夏休み体験	小学生	245人	手作り教室、体験教室など	地区公民館など
立 志 式	中学2年生	560人	11月30日(水)開催、講演会の開催	文化会館フォルテ
青少年海外派遣事業	中学生 高校生	計20人程度	7月23日(土)～24日(日)オンラインにて韓国・中国・ロシアの学生と交流 「石川少年の翼」オンライン国際交流事業への募集に係る協力	国立能登青少年交流の家

② 成人式の開催

目的	日時	内容	場所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	令和5年1月8日(日) 午後2時から	式典等	文化会館フォルテ

③ 青少年団体の育成

学校外活動の充実を図るため、定期的に活動する団体の育成を推進します。

- ・中央公民館事業 …フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」

④ 校外育成活動の充実

市少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”市民会議が中心となって、官民一体となった育成活動を展開します。

	組 織	主 な 事 業
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員14人 育成指導員59人	街頭巡視活動、万引き対策、インターネット巡視活動など
“ののいちっ子を育てる”市民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成54団体、 役員・常任委員27人	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃、社会環境浄化活動、啓発活動、青少年問題研修会(講演会)など

(4) 地域教育力の活性化

① 放課後・週末における子どもの居場所づくりの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施します。

通年事業

事業名	校区
野々市小学校放課後子ども教室	野々市小学校
御園小学校放課後子ども教室	御園小学校
菅原小学校放課後子ども教室	菅原小学校
富陽小学校放課後子ども教室	富陽小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全市内対象

長期休暇中事業

事業名	校区
土曜日等の教育活動推進事業	全市内対象

② 生涯学習ボランティアの育成

事業名	目的	内容
学びのサポーター登録・活用事業	地域住民の体験活動等を充実させるため「学びのサポーター」を募集・登録し、その活用を図る。	募集・登録・紹介事業 公民館活用事業
社会教育指導者サポート事業	市民が自身の特技を生かして社会に貢献する公益性の高い活動の促進と充実を図るために、研究費用の支援を行う。	「夏休み学習応援・おもしろ教室」の講師グループの研究活動費の支援
事業企画推進協議会	市民が互いに学び合いながら、イベント等の企画運営を通して市のにぎわいを創出する。	にぎわいの里ののいちカミーノを拠点とした野々市中央地区のにぎわい創出に資する催事等の開催



放課後子ども教室



学びのサポーターとつくる夏休み体験

③ コミュニティ・スクールの活動の充実

家庭・地域・学校が一体となって子どもたちをはぐくむ「地域と共にある学校づくり」を推進します。

・学校運営協議会の役割

目 的	内 容	実施回数	委員
学校と保護者、地域住民等が共に知恵を出し合い、学校運営を考え、協働しながら子ども達の豊かな成長を支える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の基本方針を承認 ・学校運営や地域教育活動について熟議※を行う ※「熟慮」と「配慮」を重ねながら、問題解決をしていくこと。	各校 4回程度	各校 5～7人

・地域学校協働本部の役割

目 的	内 容	地域協力者（個人・団体）の登録数（目標）
学校と地域（地域人材）をつなぎ、質の高い学校教育を実現し、地域の教育力の向上を図る。	学習活動等の支援にかかる地域協力者の確保	100（人・団体）

(5)成人教育の充実

① ののいち市民大学事業の実施

・ののいちコミュニティカレッジの開講

目 的	内 容	企画委員会	場 所
大学協力講師等による市民向け講座を開設し、市民の自主的な運営によって、学習機会の拡大とまちづくり事業への参画意識の高まりを図る。	金沢工業大学、石川県立大学、金沢大学等の協力により、昼の部、夜の部及び共通講座を計11講座程度開講。	公募者8名	にぎわいの里ののいちカミーノ他

・公開講座の開講

広く市民に公開し、学習意欲の喚起を図る。

目 的	内 容	実施回数等	場 所
普段の受講生だけでなく、市民全員を対象にした無料の講座を行い学習の機会を提供するとともに、新たな受講生を開拓する。	令和3年度に開催した「日本に於ける紅茶の歴史」に引き続き、「おいしい紅茶の飲み方」と題して試飲を含めた紅茶の入れ方講座を実施。また、ツエーゲン金沢の選手を講師とした若者向け講座の実施。	年2回程度	にぎわいの里ののいちカミーノ



コミュニティカレッジ

(6) 公民館・女性センター活動の充実

① 中央公民館事業（活動）の充実

- ・ののいちマナビィフェスタの開催

目的	内容	会場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、模擬店、ワークショップ等	にぎわいの里ののいち カミーノ 他

- ・高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内容
野々市寿大学校	60歳以上	44人	4月から月2回程度 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の 修了者	210人	コーラス・ちぎり絵・園芸・書・水墨画・ 健康体操ストレッチ（ピラティス）・歴史・ 加賀の国と日本文学の8コースを実施 院生による自主活動

- ・自主サークル活動の奨励

寿大学校同窓会活動を支援し、継続的な学びと仲間づくりを進めます。

② 地区公民館活動の充実

地域住民が相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、生活の改善、健康の増進に寄与できる公民館活動を行います。

- ・主な地区公民館事業

◎ 野々市公民館

期 日	事 業 名
5月	第23回本町地区グラウンドゴルフ大会
6月	地域学習会3回シリーズ（防災）
8月	戦争体験講座
10月	地区運動会
11月	トリプルソフトバレー大会
12月	クリスマスコンサート
2月	お雛様作り

◎ 富奥公民館

期 日	事 業 名
5月	第31回富奥地区グラウンドゴルフ大会
6月	初夏のまなべるトラベル
8月	夏の富公祭
10月	地区運動会
10月	近くの施設で学ぼう（防）災
11月	トリプルソフトバレー大会
1月	寒さに耐えられる身体作り



寄せ植え教室



初秋のまなべるトラベル

◎ 郷公民館

期 日	事 業 名
6月	花いっぱい運動
7月	第26回郷地区グラウンドゴルフ大会
7月	高齢者生きがい教室
10月	地区運動会
11月	ペタンク大会
通年	&カフェ事業
通年	健寿事業



御園小ペタンク体験会

◎ 押野公民館

期 日	事 業 名
5月	第28回押野地区グラウンドゴルフ大会
6月	しらやまさんのおつたちまいりと加賀白山下7社巡り
6月	多肉食物寄せ植え教室
9月	防災について考える
10月	地区運動会
12月	冬のリース作り
1～2月	わら工作の会



金沢港クルーズターミナルと醤油の町大野の散策

③ 女性センター活動の充実

女性の日常生活の支援や福祉の増進のために、職業生活・家庭生活および一般教養に関する講座や研修会等の事業を行います。

・主な事業

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
4月	ピラティス体験	9月	はんこ彫り体験
5月	草木染め体験	10月	牛乳パックで押し寿司
6月	粘土でオリジナルブローチ	10月	和布でうさぎの置物
7月	サラダボールに絵付け体験	11月	ブロッコリー料理
8月	みんなで歌おう	12月	プレートガーデニング
8月	幸せを招く朱竹の押絵	1月	水引体験

(7)図書館活動（学びの杜ののいち）の充実

・事業内容

事業項目	事業概要
資料と情報の収集・提供	I C T技術を生かして、資料を選択、収集、整理保存し、提供する。図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。他の図書館とも連携し、利用者のニーズに応じた幅広い資料の提供を行う。
地域格差の解消	団体貸出、配本所を充実するとともに電子図書館の利用拡大を図る。
郷土理解のための情報提供	市民の郷土理解のため情報の収集と提供に努める。
児童への働きかけ	乳児も含め、児童にすぐれた図書にふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書会活動の支援、グループの育成を図る。カレードサポーターの活用と育成を図る。
学校図書館等との協力体制	学校図書館等との連携を図り、互いの活動の充実に努める。
市民学習センター機能との連携	市民が読書を通じて得た知識、好奇心を市民学習センターにおける活動の実践に結びつける働きかけを行う。

・主な活動計画

事業名	対象	実践活動の内容	実施場所
おはなし会	児童	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。	学びの杜ののいちカレード
図書館上映会	一般	図書館が所蔵する映画作品を上映する。	学びの杜ののいちカレード
市民歴史講座	一般	図書館スタッフによる野々市市に関する歴史講座を開催する。	学びの杜ののいちカレード
ののいち子ども読書の日	市民	毎年7月23日を「ののいち子ども読書の日」とし、市内の施設や学校、家庭において、子どもが本に触れ合い読書に親しめる催し物や読書啓発を行う。	学びの杜ののいちカレード、保育園、児童館、子育て支援センター、保健センター、生涯学習施設、小中学校、高等学校
ブックスタート (月2回)	乳児保護者	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター
全国高等学校ビブリオバトル石川県大会	高校生	発表者が好きな本を5分間で紹介し、観覧者が最も読みたくなった本を選ぶ書評ゲームの大会を行う。	学びの杜ののいちカレード
陶芸教室	一般	市民が気軽に陶芸を楽しみ、作品を完成させる連続講座を開催する。	学びの杜ののいちカレード
心とカラダ・自然によりそうお料理教室～美人 Food クッキング	一般	健康増進につながる食事をメインに、子どもから大人までが料理に親しめる教室を開催する。	学びの杜ののいちカレード

かがく実験教室	児 童	講師の指導のもと、子どもが科学実験や工作を行う教室を開催する。	学びの杜ののいちカレード
金沢ADC展	一 般	日本のアートディレクションの最先端を示す金沢ADCの作品展を行う。	学びの杜ののいちカレード
旅の絵本パネル展	児 童 一 般	世界各国の風物を細密に描き人気を博した絵本シリーズのパネル展を行う。	学びの杜ののいちカレード
竹筆書道パフォーマンス	児 童 一 般	専門家によるパフォーマンスと、竹筆で書く体験ができる催しを開く。	学びの杜ののいちカレード



陶芸教室



児童図書コーナー

(8)社会教育団体の支援

① 補助団体一覧

(令和4年5月1日現在)

部門	団 体 名	代 表 者	設 立 年	構 成 員 数	構 成 団 体 数
育成 団体	子ども会育成連絡協議会	後藤 龍哉	昭和40年	4,333	56
	P T A 連 合 会	豊島 真実	昭和38年	4,299	7
	野々市スカウト育成会	栗 貴章	昭和44年	66	6
女性 団体	女性協議会	澤村 昭子	昭和52年	217	-
	生活学校	千田 幸子	昭和46年	16	-
	各種女性団体連絡協議会	上野 弘子	平成14年	83	3
青年 団体	青年ボランティア団体 glory	小山 萌	平成28年	14	-

② サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学习サークル、グループの登録要綱等を整備し、市民の自発的な学習と仲間づくりを支援します。

・サークル、グループ登録状況(令和4年4月現在)

施 設 名	登 録 数
野々市公民館	35 団体
富奥公民館	13 団体
郷公民館	16 団体

施 設 名	登 録 数
押野公民館	10 団体
女性センター	22 団体

計 96 団体

(9)社会教育施設の管理

① 施設の充実

- ア 社会教育関連施設の整備
 - ・施設の効率的な修繕
- イ 社会教育関連施設の運用の工夫
 - ・公共施設予約案内システムの運用
- ウ 野々市中央地区整備事業（PFI事業）による整備計画
 - ・文化交流拠点施設
 学びの杜ののいち（愛称 カレード）（新市立図書館、市民学習センター、憩いの広場）
 供用開始日 平成 29 年 11 月 1 日
 維持管理運営期間 平成 29 年度～令和 10 年度
 - ・地域中心交流拠点施設
 にぎわいの里ののいち（愛称 カミーノ）（新中央・野々市公民館、市民活動センター、商業施設）
 供用開始日 平成 31 年 4 月 1 日
 維持管理期間 平成 31 年度～令和 10 年度

② 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(㎡)	施 設 内 容	建設年月
中央公民館 （にぎわいの 里ののいち カミーノ内）	本町二丁目 1-20	248-0521	3,060.16	ホール、視聴覚室、実習室（2）、 調理室、和室（2）、学習室（3）、 研修室、多目的室（2）	H31.4
野々市公民館	中央公民館に同じ				
富奥防災コ ミュニティセ ンター（富奥公 民館）	中林五丁目 3-22	248-0829	1,489.80	多目的室、和室、調理室、小会 議室、集会室、学習室（2）	H26.11
郷公民館	田尻町 94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室（2）、 和室（2）、調理実習室	H2.3
押野公民館	押野三丁目 70	248-2839	709.58	集会室、学習室、研修室、調理 実習室、和室（2）	S61.3
女性センター	稲荷四丁目 155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室（2）、 調理実習室	S58.1
市立図書館 （学びの杜の のいち カレ ード内）	太平寺四丁目 156	248-8099	5,695.7	市立図書館 閲覧室（一般・児童・ヤングア ダルト）、図書ボランティア室、 学習室、グループ学習室	H29.11
市民学習セン ター	市立図書館に同じ			市民展示室、屋外ギャラリー、 オープンギャラリー、音楽スタ ジオ、研修室・会議室、キッ チンスタジオ、創作スタジオ（2）	

③ 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
中央公民館 野々市公民館 郷公民館 押野公民館	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する日の3ヶ月前の日の属する月の初日から3～10日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
富奥防災コミュニティセンター(富奥公民館)	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する日の3ヶ月前の日の属する月の初日から3日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝 日、年末年始	① 使用する3ヶ月前の日の属する月の初日から3日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
学びの杜のの いち 愛称：カレード	午前9時～ 午後10時	水曜日、年末 年始	市民学習センター ① 使用する6ヶ月前の日の属する月の初日から3日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から午後9時30分まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
			市立図書館 ① 貸出は一人10冊まで ② 期間は2週間

④ 施設利用状況（令和3年度）

名 称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	2,862	43,903
富奥防災コミュニティセンター(富奥公民館)	894	15,058
郷公民館	838	6,600
押野公民館	528	7,432
女性センター	1,234	11,335
市民学習センター	1,006	41,888

市立図書館	個人有効登録者数 (人)		貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		入館者数 (人)
	15,742		134,336		608,216		299,925
	小学生以下	2,465	小学生以下	21,140	小学生以下	124,015	
	一般	13,277	一般	113,196	一般	484,201	

⑤ 市立図書館の蔵書構成と貸出状況（令和4年3月末現在）

		蔵書数(冊)	構成比(%)	令和2年度貸出冊数(冊)
総冊数		221,025	100.0	608,216
開架		140,195	63.4	-
閉架		65,739	29.7	-
館外		15,091	6.8	-
内 訳	0 総記	4,645	2.1	6,754
	1 哲学	4,921	2.2	12,242
	2 歴史・地理	12,777	5.8	16,547
	3 社会科学	17,790	8.0	29,685
	4 自然科学	9,532	4.3	20,814
	5 技術	12,908	5.8	48,320
	6 産業	5,376	2.4	11,674
	7 芸術	13,620	6.2	25,065
	8 言語	2,991	1.4	5,645
	9 文学	45,792	20.7	122,610
	児童書(絵本、紙芝居含む)	68,199	30.9	275,390
	YA向け図書	11,828	5.4	2,999
	郷土資料	10,646	4.8	19,604
雑誌	-	-	9,247	
視聴覚資料	-	-	1,620	
その他	-	-	6,754	

開架：本館閲覧室所蔵の分

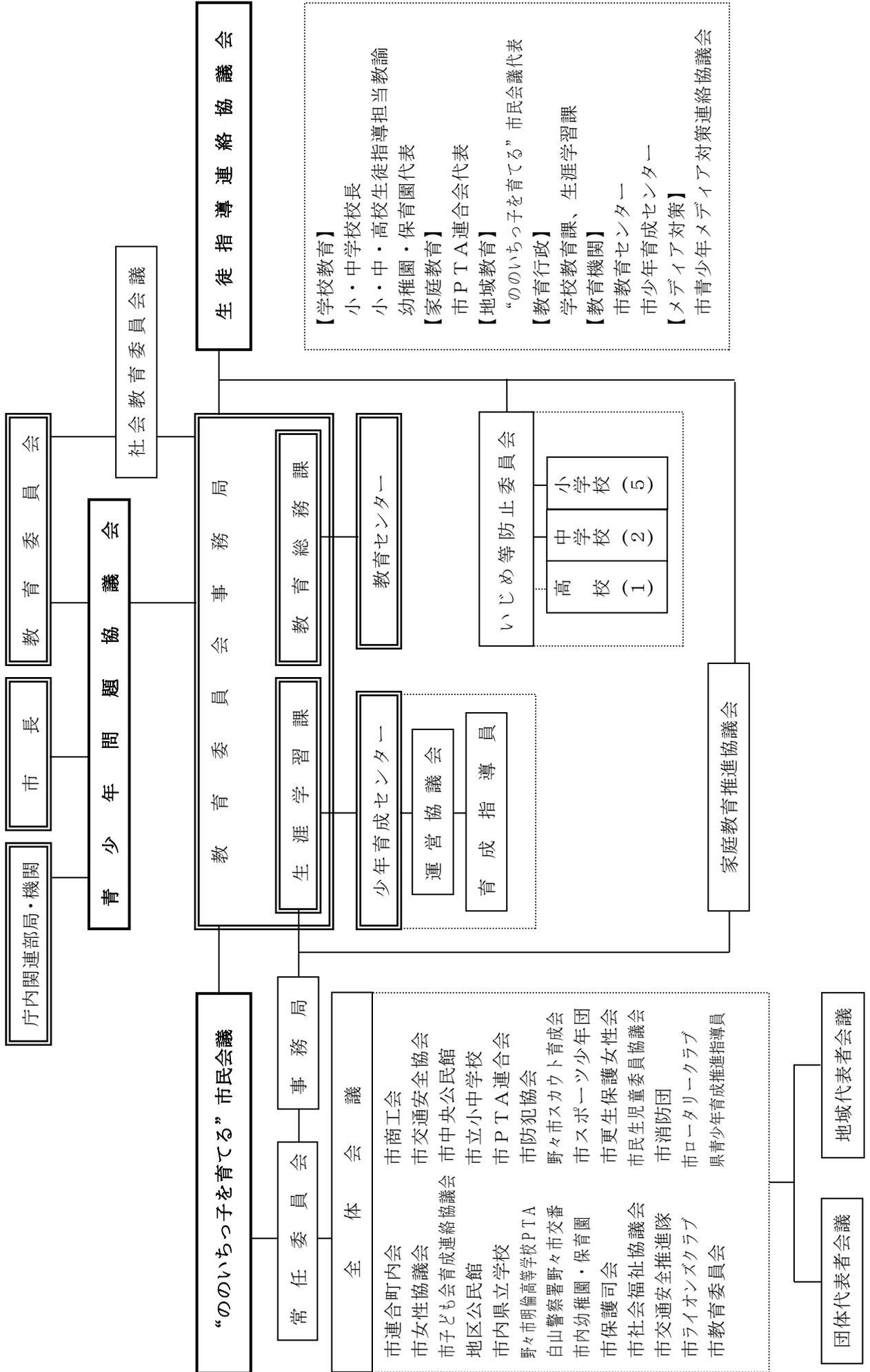
閉架：本館書庫所蔵の分

館外：配本所の分

※雑誌、視聴覚資料は蔵書数に含まない。

青少年対策機構図

野々田市



Ⅶ. 文 化

1. 基本目標及び基本的施策（令和4年3月25日策定）

（1）基本目標

文化事業を通じて、市民一人ひとりの創造性と個性を育むとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める事業や環境の整備を進めて、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざします。

（2）基本的施策

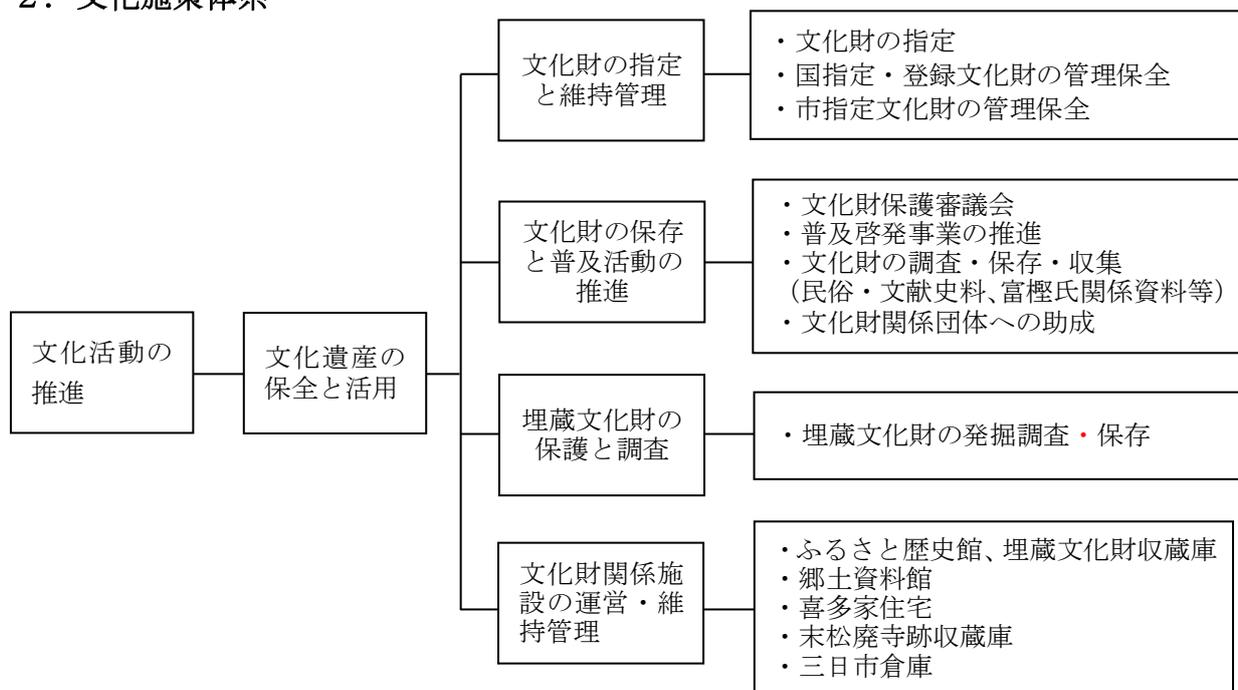
① 文化・芸術活動の推進

- ・ 市民が文化・芸術に親しむ機会の充実を図ります。

② 伝統行事・文化財の保存と活用及び地域の文化に対する理解の醸成

- ・ 郷土芸能伝承団体の活動を支援し、伝統行事の伝承と後継者の育成を図るとともに、無形文化財の指定に向けた調査を実施します。
- ・ 土器づくりや勾玉づくりの古代体験学習、野々市の歴史・文化をテーマとした企画展・講演会を実施します。
- ・ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の土器について保存修理事業を進め、展示公開の充実を図ります。
- ・ 史跡末松廃寺跡の再整備に資する、指定地内の発掘調査を実施します。
- ・ 「北国街道まちづくり基本計画」に基づき、文化財施設等の更なる保存・活用を図ります。
- ・ 中林土地区画整理事業など大規模な開発に伴う埋蔵文化財発掘調査事業を円滑に進めます。

2. 文化施策体系



(1)文化遺産の保全と活用

① 文化財の指定と維持管理

ア 文化財の指定

市内に存在する重要な文化財を調査検討し、指定文化財として後世に継承します。

イ 国指定・登録文化財の管理保全

史跡末松廃寺跡、史跡御経塚遺跡、重要文化財喜多家住宅、重要文化財石川県御経塚遺跡出土品、登録有形文化財旧藤村家住宅（田村家住宅）



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡



重要文化財喜多家住宅

ウ 市指定文化財の管理保全

農事社跡、住吉の宮、富樫館跡、徹通和尚茶毘の墓、水毛生家住宅、守護所富樫館跡

エ 指定文化財一覧表

a 国指定文化財

種別	名称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
重要文化財	建造物 喜多家住宅	6棟・宅地	野々市市本町三丁目8-11	野々市市	S46.12.28 R1.12.27 追加指定
記念物	史跡 末松廃寺跡		〃 末松二丁目地内	〃	S14.9.7
〃	〃 御経塚遺跡		〃 御経塚一丁目549	〃	S52.3.8
重要文化財	考古資料 石川県 御経塚遺跡出土品	4,219点	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	〃	H22.6.29
重要無形文化財	工芸技術 蒔絵	—	〃 清金	中野孝一	H22.9.6

b 市指定文化財

種別	名称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
有形文化財	絵画 馬の図 (伝富樫政親筆)	1幅	野々市市扇が丘7-1	金沢工業大学	S45.3.10
〃	書跡 顕尊上人消息	1通	〃 本町三丁目13-20	照台寺	S42.2.11

種 別	名 称	数量	所在地住所	管 理 者	指定年月日	
有形文化財	書跡	八幡大神の神号額	1 幅	野々市市御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	H2.5.29
〃	〃	亀の字	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	野草幽花各自香	1 幅	〃	〃	〃
〃	歴史資料	鳥居	1 基	〃 徳用二丁目	光松八幡神社	〃
〃	〃	三社の題額	1 面	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1 面	野々市市御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	〃
〃	絵画	猿の絵	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	扇面	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	宝の玉の図	1 幅	〃	〃	〃
〃	彫 刻	木造狛犬	1 対	〃 徳用二丁目	光松八幡神社	〃
〃	建造物	旧魚住家住宅 (現郷土資料館)	1 棟	〃 本町三丁目19-24	野々市市	H5.2.16
〃	〃	水毛生家住宅 附 庭 園	3 棟	〃 本町三丁目	個人	H8.1.25
〃	工芸品	脇差 (銘信長)	1 振	〃 本町三丁目1-1	布市神社	H8.3.1
〃	歴史資料	木造厨子	1 基	〃 三納二丁目1	日下日吉神社	H9.6.25
〃	〃	石造山王権現神像	1 軀	〃	〃	〃
記 念 物	史 跡	経塚	1 基	〃 御経塚二丁目335	野々市市	H12.5.26
		附 石像傳大士像	1 軀	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館		
有形文化財	書 跡	野代村村御印	1 通	〃 野代二丁目	個人	H14.7.4
〃	歴史資料	古源家文書	414点	〃 末松一丁目	個人	〃
〃	考古資料	和同開珎銀錢	1 点	〃 末松一丁目	個人	H19.2.22
〃	考古資料	御経塚遺跡出土品	6,721 点	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	H20.4.22
記念物	史跡	守護所富樫館跡	—	〃 住吉町235-2	個人	H28.6.28
有形文化財	歴史資料	石山合戦図絵馬	1 面	〃 二日市五丁目 18	荒川神社	H29.11.1
〃	〃	賤ヶ岳合戦図絵馬	1 面	〃 二日市五丁目 18	荒川神社	H29.11.1

c 登録有形文化財

種 別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日	
有形文化財	建造物	旧藤村家住宅 (田村家住宅)	8 棟	野々市市本町二丁目	個人	R3.2.26

② 文化財の保存と普及活動の推進

ア 文化財保護審議会

市内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

イ 普及啓発事業の推進

- 普及啓発事業
 - ・夏休み古代体験学習、文化財関係企画展、歴史講演会を実施します。
 - ・重要文化財石川県御経塚遺跡出土品について展示公開を充実します。
 - ・埋蔵文化財発掘調査現地説明会を実施します。



郷土資料館企画展「野々市繫昌記」

ウ 文化財の保存・調査・収集

- 無形文化財・天然記念物、建造物、伝承等の調査
- 民具、農具、生活用具等の収集
- 伝承、昔話等の収集、記録
- 古文書等文献史料や市の沿革に関する資料の調査・収集

エ 文化財関係団体への助成

- 富樫氏頌徳会

③ 埋蔵文化財の保護と調査

ア 埋蔵文化財の発掘調査、保存修理事業

事業名	事業概要	遺跡概要
中林土地区画整理事業関係発掘調査	末松遺跡 発掘調査 3,800 m ² 出土品整理	縄文・弥生・古墳・古代・中世集落跡
西部中央土地区画整理事業関係発掘調査	田尻ジッタ遺跡 発掘調査 4,844 m ² 出土品整理	縄文・中世・近世集落跡
長池土地区画整理事業関係発掘調査	御経塚オッソ遺跡 発掘調査 1,763 m ²	弥生・中世集落跡
民間開発緊急発掘調査	三日市 A 遺跡 発掘調査 700 m ²	弥生・古代・中世集落跡
文化財保存修理事業	重要文化財御経塚遺跡出土品 土器詳細復元委託	縄文
	史跡末松廃寺跡発掘調査 発掘調査 44 m ² 出土品整理	古代寺院跡



発掘調査状況（左：末松遺跡 右：田尻ジッタ遺跡、令和3年度）

④ 文化財関係施設の運営・維持管理

ア ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫

概要 重要文化財に指定された御経塚遺跡出土品をはじめ、弥生時代～中世の出土遺物や富樫氏関係資料・近世文献史料の展示と文化財資料の整理・収蔵を行っています。

区分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m ²	509.02 m ²	1,640.41 m ²
建築面積	344.18 m ²	180.00 m ²	524.18 m ²
延床面積	822.30 m ²	302.00 m ²	1,124.30 m ²
構造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所在地 野々市市御経塚一丁目182番地 電話：246-0133

開館時間 午前10時～午後4時

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

イ 郷土資料館

概要 市指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、明治～昭和初期の農具や生活道具を展示しています。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町家、間取りと構造は農家となる建物で、規模は間口7間（12.6m）、奥行14間（25.2m）です。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えています。

また、館内のミセノマに茶房を開設し、本町通りのにぎわい創出と地域住民が集える空間を提供しています。

面積 敷地面積 964.76 m²

建築面積 408.58 m²（旧魚住家住宅 280.85 m²・展示棟 127.71 m²）

延床面積 611.08 m²（旧魚住家住宅 335.63 m²・展示棟 203.45 m²・土蔵 72 m²）

構造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中2階）・展示棟 鉄骨造2階

移築年月日 平成7年3月1日

所在地 野々市市本町三丁目19番24号 電話：246-2672

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫



郷土資料館

ウ 喜多家住宅

概 要	明治時代から酒造業を営んでいた旧家であり、金沢市内から移築された主屋および道具蔵は、唯一残る金沢町家であることから、昭和46年（1971年）に国の重要文化財に指定されています。主屋北側に接続する旧酒造施設は、明治期から始まった酒造りの場の原型を今日まで良好な状態で残しています。その非常に高い歴史的価値から重要文化財に追加指定されています。令和2年（2020年）に公有化を行っています。
面積	敷地面積 2,432.18 m ² 、建築面積 1,035.47 m ² 、延床面積 1,250.32 m ²
構造	主 屋 木造瓦葺2階建 道具蔵 土蔵瓦葺2階建 作業場 木造瓦葺平屋建 酒 蔵 土蔵瓦葺2階建 前 蔵 土蔵瓦葺平屋建 貯蔵庫 土蔵瓦葺平屋建
公有化年月日	令和2年10月1日
所在地	野々市市本町三丁目8番11号 電話：248-1160
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始
観覧料	大人400円 小人200円、団体（10人以上）各100円引き



喜多家住宅（内観）

エ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要	白鳳時代（7世紀後半）に創建された末松廃寺跡から出土した遺物を収蔵しています。 鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m ² 、総床面積 129.73 m ² 。
所在地	野々市市末松二丁目（史跡末松廃寺跡）地内

オ 三日市倉庫

概 要	市内埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物及び市内で収集された民具、農具、生活用具等を保管しています。 コンクリートブロック造瓦葺（一部木造カラー鉄板平屋建） 敷地面積 393.65 m ² 、建築面積 231.0 m ²
所在地	野々市市三日市三丁目362番地

VIII. スポーツ

1. 基本目標及び基本的施策（令和4年3月25日策定）

(1) 基本目標

スポーツ施設の効果的な活用を図り、生涯にわたりあらゆる機会と場において、だれもが気軽に参加できる生涯スポーツ活動の推進並びに競技スポーツの充実・強化に努めます。

スポーツを通して市民一人ひとりが健康で豊かな生活を営み、かつ積極的で活力あふれる地域社会の相互連携を構築します。

(2) 基本的施策

① 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進

- ・ スポーツを通じて幸福で豊かな生活を実現するため、さわやかスポーツフェスティバルやマラソン大会など、各種スポーツイベントの充実を図ります。
- ・ ニューススポーツ体験会、各種大会を通じて、ニューススポーツの普及に努めます。
- ・ 市の広報やインターネット等を活用し、イベント等の情報発信に努めます。
- ・ スポーツ推進委員の活動強化と資質の向上を図ります。
- ・ それぞれの年齢層に応じて気軽に参加できる生涯スポーツ教室の充実努めます。
- ・ 「する」スポーツだけでなく、スポーツの楽しさや感動等、応援する楽しみを含めた「みる」「ささえる」スポーツの推進を図ります。

② 競技スポーツの充実・強化

- ・ 石川県民スポーツ大会上位入賞を目指した競技力の向上及び参加競技数の増加に努めます。
- ・ 優秀な若手選手の発掘や競技力向上のため、指導者の育成に努めます。
- ・ 競技力、指導力の向上に向け、企業や大学等と連携を図ります。

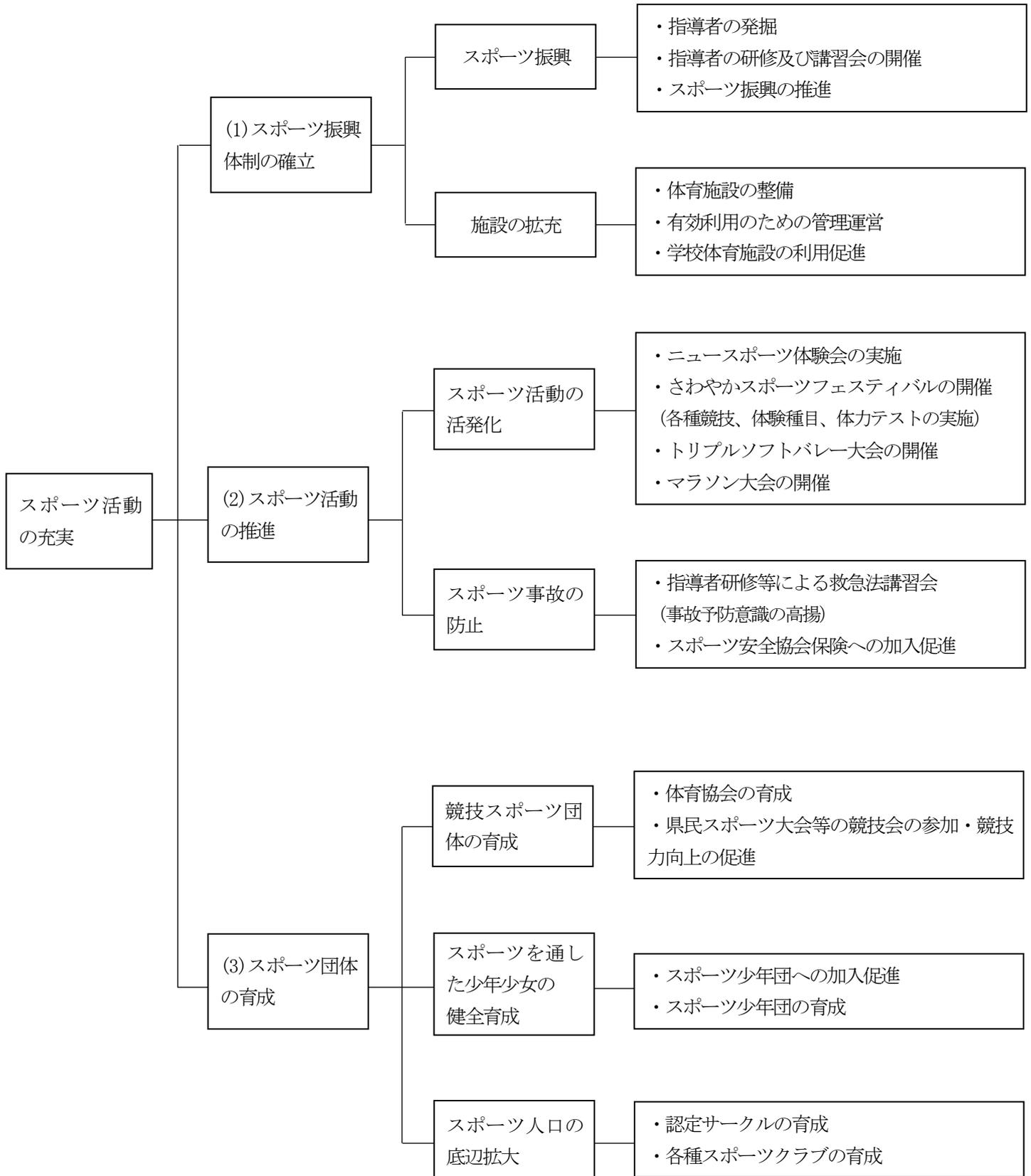
③ スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進

- ・ 体育協会、スポーツ少年団の自立と活動を支援します。
- ・ スポーツ関係団体、スポーツ推進委員協議会との連携を図り、市民の自主的な生涯スポーツ活動への参画を促します。

④ スポーツ施設の整備

- ・ 野々市市体育施設整備実施計画、野々市市公共施設個別施設計画に基づき、新たに整備を行う施設の検討や、既存施設の長寿命化・機能維持に向けた計画的な改修及び管理運営を行います。

2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツの振興

① スポーツ振興の推進

ア スポーツ推進審議会 5月27日(金) 市民体育館

イ スポーツ推進委員協議会

- ・月1回の定例会の開催
- ・市・地域スポーツ事業等への協力
- ・ニュースポーツ体験会の実施

ウ 指導者講習会・研修会の開催

- ・北陸地区スポーツ推進委員研修会兼石川県スポーツ推進委員研修会
オンライン開催
- ・金沢地区スポーツ推進委員研修会
令和4年7月2日(土) 津幡町

エ スポーツ推進計画の策定

本市のスポーツ施策推進のため、具体的な実行計画として「野々市市スポーツ推進計画」を策定

② 施設の拡充

ア スポーツ施設の整備

- ・野々市市民体育館 受変電設備更新工事
- ・野々市市スポーツランドプール 競技用・児童プール用ろ過機ろ材交換工事

イ 体育施設の管理運営

- ・計画的、効率的な管理運営

ウ 学校体育施設の利用促進

- ・学校体育施設開放運営委員会及び
学校体育施設開放指導員打ち合わせ会の開催
運営委員会 4月27日(水) 文化会館フォルテ
指導員打ち合わせ会(資料送付※コロナにより)

(2) スポーツ活動の推進

① スポーツ活動の活発化

ア 生涯スポーツ活動推進事業

- ・さわやかスポーツフェスティバル2022
6月5日(日)、6月11日(土)～12日(日) 中心会期
市民体育館ほか
- ・市制施行10周年・第40回 野々市じょんからの里マラソン記念大会(令和3年度より延期)
10月16日(日) 市内マラソンコース



ニュースポーツ体験会



さわやかスポーツフェスティバル

- ・野々市市ニュースポーツ大会
令和5年3月 市民体育館

イ スポーツ情報の提供

- ・スポーツガイドの発行
- ・チラシ、ポスターの発行による行事案内
- ・市広報、ホームページ、SNSによる行事案内
- ・えふえむ・エヌ・ワン「ホームタウン野々市」での行事案内



トリプルソフトバレー大会

ウ 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・激励費等の支給

エ 顕 彰

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| ・県 関 係 | ・生涯スポーツ功労者表彰
・生涯スポーツ優良団体表彰 |
| ・県スポーツ協会関係 | ・スポーツ協会功労者表彰
・スポーツ少年団指導育成功労者表彰 |
| ・市 関 係 | ・特別栄誉表彰
・スポーツ功労表彰 |
| ・教育委員会関係 | ・教育功労表彰
・教育振興表彰 |
| ・体育協会関係 | ・体育功労賞
・スポーツ賞
・スポーツ奨励賞 |
| ・スポーツ少年団関係 | ・特別功労者表彰
・功労者表彰
・優秀クラブ表彰 |
| ・スポーツ推進委員関係 | ・県スポーツ推進委員協議会表彰 |

② スポーツ事故の防止

- ・各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進
- ・応急手当講習会



応急手当講習会

(3) スポーツ団体の育成

① 競技スポーツ団体の育成

ア 体育協会 32団体 (内1団体休会中)

(さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及)

- ・第74回石川県民スポーツ大会 夏季大会
8月6日(土)・7日(日) 加賀市を主会場
- ・第75回石川県民スポーツ大会 冬季大会
令和5年2月25日(土)・26日(日) 白山市
- ・競技強化委員会による競技力の向上
- ・市民を対象としたスポーツ教室の開催
(弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ等)



石川県民体育大会 冬季大会

② スポーツを通じた少年少女の健全育成

ア スポーツ少年団17クラブ (少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大)

- ・指導者・保護者研修会
未定
- ・清掃奉仕活動 市内各小学校他
6月～未定
- ・体カテスト会
12月4日(日) 市民体育館
- ・リーダー研修会
令和5年1月7日(土)・8日(日) 白山青年の家
- ・総合交歓会
令和5年2月26日(日) 市民体育館

イ 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体
- ・認定サークル
一般スポーツクラブ 34団体
高齢者スポーツクラブ 2団体



スポーツ少年団リーダー研修会



高齢者スポーツクラブ 定期活動

ウ スポーツ団体一覧

a 体育協会加盟団体

	協 会 名	代 表 者 名	加 盟 年 月
1	野々市市バレーボール協会	小川幸人	昭和49年10月
2	野々市市剣道協会	石田良成	昭和48年8月
3	野々市市陸上競技協会	笠間 悟	昭和48年4月
4	野々市市卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市市弓道協会	谷内正博	昭和49年12月
6	野々市市ソフトボール協会	吉田吉信	昭和50年4月
7	野々市市クレー射撃協会	古田 剛	昭和50年4月
8	野々市市ボウリング協会	松本英将	昭和50年6月
9	野々市市野球協会	北本 正	昭和52年4月
10	野々市市バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市市テニス協会	吉田康志	昭和55年4月
12	野々市市バドミントン協会	安原 透	昭和55年3月
13	野々市市スキー協会	中山 巖	昭和55年11月
14	野々市市ソフトテニス協会	干場三郎	昭和57年1月
15	野々市市空手道協会	休 会	昭和57年4月
16	野々市市相撲連盟	金村哲夫	昭和57年7月
17	野々市市トランポリン協会	吉田 修	昭和58年6月
18	野々市市サッカー協会	甲藤良二	昭和59年4月
19	野々市市水泳協会	北村大助	昭和59年4月
20	野々市市ゲートボール協会	北出武夫	昭和59年4月
21	野々市市柔道協会	田中教崇	昭和61年3月
22	野々市市山岳協会	吉田 修	平成元年4月
23	野々市市グラウンドゴルフ協会	中田 弘	平成4年4月
24	野々市市ゴルフ協会	西本政之	平成4年4月
25	野々市市太極拳協会	高野 晃	平成14年1月
26	野々市市ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市市パークゴルフ協会	岡本 正	平成18年4月
28	野々市市少林寺拳法協会	石原 晋	平成19年4月
29	野々市市バウンドテニス協会	吉田 修	平成24年10月
30	野々市市ハンドボール協会	桜井 渉	平成26年4月
31	野々市市自転車協会	殿村和也	平成29年4月
32	野々市市綱引協会	土田友雄	平成31年4月

b スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	野々市剣道スポーツ少年団	昭和48年	10	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年
2	野々市市柔道スポーツ少年団	昭和54年	11	菅原学童野球クラブ	昭和58年
3	野々市少年少女トランポリンクラブ	昭和56年	12	菅原少年サッカークラブ	昭和58年
4	野々市ジュニアバドミントンクラブ	昭和61年	13	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
5	野々市市ジュニアソフトテニスクラブ	平成26年	14	富陽学童野球クラブ	昭和63年
6	野々市学童野球クラブ	昭和56年	15	富陽サッカークラブ	昭和62年
7	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	16	館野学童野球クラブ	昭和59年
8	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	17	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
9	御園学童野球クラブ	昭和55年			

c スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 5チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
住 吉 ク ラ ブ	一 般	ピ ン ク パ ン サ ー	一 般
オクダカダッチャンズ	〃	栗 田 ソ フ ト ク ラ ブ	〃
セ ン チ ュ リ ー 2 1	〃		

● 壮年ソフトボールクラブ 7チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
栗田壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子	エ レ フ ァ ン ト	一般壮年男子
の ら く ろ ク ラ ブ	〃	位 川 ソ フ ト ボ ー ル ク ラ ブ	〃
新庄壮年ソフトボールクラブ	〃	若 松 パ ワ ー ス ト ー ン ズ	〃
稲荷壮年ソフトボールクラブ	〃		

● 早朝日曜野球連盟 5チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
ツ イ ス タ ー	一 般	ブ ル ー ス ト ー ン ズ	〃
ブ ル ー ダ ン サ ー ズ	〃	高 桑 美 術 印 刷	〃
栗 田 ク ラ ブ	〃		

d 市内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》 (14クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
レ デ ィ ー ス 野 々 市	軽スポーツ等	市民体育館
野 々 市 卓 球 ク ラ ブ	卓球	市民体育館
野 々 市 レ イ ン ボ ー	トランポリン	市民体育館
野 々 市 バ ド ミ ン ト ン ク ラ ブ	バドミントン	野々市中学校・市民体育館
風 雅	フリースタイルダンス	スポーツセンター
ボ デ イ A	アイドルダンス	スポーツセンター
S ・ C ・ D マ リ ー ゴ ー ル ド	スコティッシュカントリーダンス	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳練習	スポーツランドプール
ア ク ア ビ ク ス 2 0 0 0	水中エアロビクス	スポーツランドプール
T ・ V ・ C	バレーボール	菅原小学校
サ ク セ ス	バレーボール	菅原小学校
み そ の ク ラ ブ	バレーボール	御園小学校
N ' w i t h	バレーボール	富陽小学校
W E E D	バスケットボール	野々市小学校

《一般対象》 (20クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
フレッシュテニスクラブ 茜	フレッシュテニス	市民体育館
野々市市トランポリン愛好会	トランポリン	市民体育館
グリッブクラブ	バドミントン	市民体育館
ファイヤー・クロス	ソフトバレーボール	市民体育館
タウンビート	ジャズダンス	スポーツセンター
野々市太極拳クラブ	太極拳	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	野々市小学校・野々市中学校
野々市サッカークラブ	サッカー	布水中学校・富陽小学校
ぴゅあーズ	ソフトバレーボール	御園小学校
野々市空手クラブ	空手道	武道館
野々市走ろう会	ジョギング	文化会館フォルテ周辺
野々市市スノーボード協会	スノーボード	白山麓スキー場
WILL	トリムバレーボール	野々市中学校
楽しい山の会	登山	県内外
日本空手協会野々市道場	空手道	館野小学校・富陽小学校
空手野々市クラブ	空手道	富陽小学校
野々市ウキウキ・ウォーキング	ウォーキング	屋外
ののいち空手愛好会	空手道	館野小学校
野々市空手道場	空手道	館野小学校
野々市フルコンタクト空手クラブ	空手道	御園小学校

《高齢者対象》 (2クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	市民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	スポーツセンター

(4) スポーツ施設整備事業の推進

「野々市市体育施設整備実施計画」に基づき、野々市中央公園拡張整備計画に伴う体育施設の整備事業の推進

3. 体育施設

(1) 社会体育施設

① 施設概要

単位：㎡

施設名	位置	規模	施設内容	完成年月日
野々市市民体育館	下林三丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m×34.45m) 小体育館 (22.00m×13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市市武道館	位川183	1,072	柔道場 (14.92m×18.42m) 剣道場 (14.92m×13.50m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市市弓道場	太平寺三丁目128	170.91	射場棟 (89.43㎡) 的場棟 (26.75㎡) トイレ木造平屋建	昭和56年9月30日 平成22年3月25日
野々市市民野球場	下林三丁目97	14,754	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人収容 外野スタンド 1,600人収容 夜間照明 被照明面積 12,778㎡ 平均照度 内野 1,150ルクス 外野 600ルクス	昭和61年9月29日
雨天練習場		168 駐車場 822	照明塔 6基 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和62年12月15日
野々市市相撲場	下林三丁目97	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林三丁目97	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 非照明面積 1,600㎡ 平均照度 250ルクス 照明塔 4基	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林三丁目97		ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 8,000㎡ 平均照度 350ルクス 照明塔 6基	

ジョギングコース	下林三丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市市健康広場	上林一丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園運動広場	押野一丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日
野々市市スポーツランド	中林五丁目1-1	25,276	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m ジャグジープール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5m ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面 ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 " 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700㎡ 平均照度 350ルクス 照明塔 20基 ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713㎡	平成4年3月25日
野々市市スポーツセンター	押野二丁目30	5,542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1周160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

② 施設の利用状況

令和3年度野々市市体育施設の利用状況及び使用料、販売額報告

単位：件、人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
市民体育館	25,310	50,809	1,639,100
市民野球場	475	8,713	829,825
中央公園テニスコート	647	1,693	438,200
スポーツセンター	23,298	55,262	1,382,150
武道館	821	10,909	62,300
弓道場	2,878	5,312	0
中央公園運動広場	177	5,973	330,150
押野中央公園運動広場	73	2,643	58,800
健康広場	100	2,392	174,750
相撲場	0	0	0
スポーツランド・テニスコート	5,900	14,846	2,679,250
スポーツランド・さわやかホール	707	8,349	215,525
スポーツランド・プール	12,483	33,207	4,265,100
スポーツランド・研修室	15	106	0
合 計	72,884	200,214	12,075,150

単位：円

体育施設共通回数券	販売額
市民体育館	314,500
スポーツセンター	410,500
スポーツランド	182,500
合 計	907,500

(2) 学校体育開放施設

① 施設概要及び利用について

施設名		使用できる時間	利用の範囲等
野々市中学校	運動場	日曜・祝日 午前9時～午後6時	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時	
	体育館	平日 午後7時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ活動を原則とします。
布水中学校	運動場	日曜・祝日 午前9時～午後6時	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平日 午後7時～午後9時	
野々市小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動
	体育館	平日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
御園小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
菅原小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
富陽小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
館野小学校	運動場	平日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。			

② 利用状況

令和3年度 学校体育施設開放利用状況

R3年4月～R4年3月

	スポーツ少年団		一般クラブ		ナイターソフト連盟		社会教育関係		町内会等		市教育委員会関係等		スポーツ講習会・教室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
野々市小	運動場	188	4,788					4	200								192	4,988
	体育館	494	15,564	126	1,636			3	150								623	17,350
	小体育館																	
御園小	運動場	71	1,983					1	70								72	2,053
	体育館	252	6,951	146	2,886			2	160			2	145				402	10,142
	小体育館																	
菅原小	運動場	149	3,102														149	3,102
	体育館	329	7,424	119	1,471												448	8,895
	プレイルーム																	
	小体育館																	
富陽小	運動場	203	5,940														203	5,940
	体育館	87	1,805	157	3,391			2	265			1	70	8	312		255	5,843
	プレイルーム																	
館野小	運動場	127	3,627														127	3,627
	体育館	273	8,169	143	3,986			4	200			2	145				422	12,500
	プレイルーム																	
野々市中	運動場																	
	体育館			115	1,456												115	1,456
	プール			48	484									9	180		57	664
布水中	運動場																	
	体育館																	
	プール																	
小計	運動場計	738	19,440	48	484			5	270					9	180		800	20,374
	体育館計	1,435	39,913	806	14,826			11	775			5	360	8	312		2,265	56,186
	小体育館計																	
総計	プレイルーム計																	
	プール計																	
合計		2,173	59,353	854	15,310			16	1,045			5	360	17	492		3,065	76,560

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため令和3年5月10日～6月13日、7月31日～9月30日、令和4年1月27日～3月21日の期間、学校体育施設の利用を制限した。

各種委員会委員等

市特別職

市	長	栗	貴	章
副	市	山	口	良

教育委員会

教	育	長	大久保	邦	彦
職	務	代	松	本	哲
委		理	松	野	勝
		員	宮	川	美保子
		〃	安	嶋	是
		〃	高	桑	奈
		〃			美

野々市市教育支援委員会

委	員	長	中	村	英	夫	
委		員	浅	井		暁	
		〃	西	村	優	紀美	
		〃	西	川		香	
		〃	作	田	有	子	(野々市小学校)
		〃	棟	野		章	(御園小学校)
		〃	大	野	登	志文	(菅原小学校)
		〃	中	野	淳	子	(富陽小学校)
		〃	河	本	隆	明	(館野小学校)
		〃	石	井	利	幸	(野々市中学校)
		〃	松	田	英	樹	(布水中学校)
		〃	徳	野	伸	一	(子育て支援課長)
		〃	竹	田	宏	美	(あすなろ保育園長)
		〃	古	村		充	(教育委員会参事兼学校教育担当課長)

野々市市教育センター運営協議会

会		長	榊	原	清	志	
副	会	長	河	本	隆	明	(館野小学校)
委		員	笠	間		悟	
		〃	田	中	和	子	(発達相談センター所長)
		〃	国	沢	雄	介	(野々市中学校)

社会教育委員会

議	長	山 本 邦 継	(学識経験者)
委	員	臼 井 ゆかり	(学識経験者)
	〃	川 上 秀 子	(学識経験者)
	〃	北 村 暁 成	(学識経験者)
	〃	桑 村 佐和子	(学識経験者)
	〃	作 田 有 子	(市校長会)
	〃	高 見 重 任	(文化協会)
	〃	豊 島 真 実	(P T A)
	〃	中 江 洋 美	(学識経験者)
	〃	番 作 隆 行	(市公民館連合会)
	〃	松 岡 砂都美	(女性協議会)
	〃	松 田 高 志	(市子ども会育成連絡協議会)
	〃	宮 川 涉	(体育協会)
	〃	吉 道 悦 子	(学識経験者)

公民館長等

中央公民館	笠 間 悟
野々市公民館	宮 本 一 郎
富奥公民館	岡 本 正
郷公民館	番 作 隆 行
押野公民館	亥 野 正 治
少年育成センター	山 本 邦 継
女性センター	大 村 礼 子
富奥防災コミュニティセンター	岡 本 正

公民館運営審議会

中央公民館

委	員	井 川 かすみ
	〃	上 野 弘 子
	〃	大 野 登志文
	〃	岡 田 稔
	〃	垣 坂 太佳盛
	〃	酒 井 正 広
	〃	後 藤 龍 哉
	〃	藤 田 雅 顯
	〃	本 光 雄
	〃	脇 内 優

野々市公民館

委	員	垣 坂 太佳盛	
〃		後 藤 龍 哉	
〃		作 田 有 子	(野々市小学校)
〃		田 中 陽 子	
〃		宮 崎 幹 子	

富奥公民館

委	員	池 田 千可子	
〃		北 明 男	
〃		中 野 淳 子	(富陽小学校)
〃		西 村 信 夫	
〃		本 光 雄	

郷公民館

委	員	西 野 辰 雄	
〃		福 田 美智代	
〃		松 野 勝 夫	
〃		棟 野 章	(御園小学校)
〃		脇 内 優	

押野公民館

委	員	河 本 隆 明	(館野小学校)
〃		清 水 彰 信	
〃		高 田 智 子	
〃		中 川 昌 一	
〃		藤 田 雅 顯	

女性センター運営委員会

委	員	黒 部 美恵子	
〃		福 井 満佐美	
〃		村 上 治 美	
〃		山 口 知 子	
〃		吉 岡 いすず	

図書館協議会

委	員	板 倉 順 子	(学識経験者)
〃		大 井 徹	(学識経験者)
〃		川 上 秀 子	(家庭教育サポーター)
〃		濱 頭 祐 子	(女性協議会)
〃		藤 井 真 人	(読書会連絡協議会)
〃		松 本 哲 幸	(学識経験者)

子ども読書活動推進連絡会

委	員	若松裕里	(健康推進課長)
〃		徳野伸一	(子育て支援課長)
〃		中野淳子	(富陽小学校長)
〃		樋口勝浩	(野々市明倫高等学校長)
〃		森美保	(御経塚保育園長)
〃		塩田健	(教育総務課長)
〃		松村隆一	(生涯学習課長)
〃		小澤司郎	(市立図書館長)

少年育成センター運営協議会

会	長	中村行也	(県青少年育成推進指導員)
副	会	北川雄三	(野々市中学校)
委	員	英ひとみ	(業界代表)
〃		稲村佐紀子	(県警委託補導員)
〃		亥野正治	(“ののいちっ子を育てる”市民会議)
〃		江戸佳野	(菅原小学校)
〃		尾西岳志	(野々市交番)
〃		北島雅恵	(野々市明倫高等学校)
〃		小倉豪	(学校教育課)
〃		千田努	(野々市市防犯協会)
〃		徳野三知應	(民生・主任児童委員)
〃		松田高志	(市子ども会育成連絡協議会)
〃		南克彦	(布水中学校)
〃		山窪純	(PTA連合会)

青少年メディア対策連絡協議会

会	長	山下かおり	(教育部長)
副	会	河本隆明	(館野小学校)
委	員	高納伸行	(“ののいちっ子を育てる”市民会議)
〃		日高昇平	(PTA連合会)
〃		横山翔	(PTA連合会)
〃		北一也	(教育センター)
〃		中川拓郎	(富陽小学校)
〃		竹内麻朝	(布水中学校)
〃		横浜猛夫	(情報文化振興財団)
〃		山本邦継	(少年育成センター)
幹	事	古村充	(教育総務課担当課長)
〃		松村隆一	(生涯学習課長)

家庭教育推進協議会

会	長	大久保 邦彦	(教育長)
副	会	寺井 弘実	(学識経験者)
委	員	石川 健介	(学識経験者)
	〃	近江 ひろえ	(学識経験者)
	〃	川上 秀子	(家庭教育サポーター代表)
	〃	稲津 哲彦	(PTA連合会 (御園小PTA会長))
	〃	松田 高志	(子ども会育成連絡協議会)
	〃	山瀬 阜月	(教育相談コーディネーター)
	〃	石淵 繁美	(保育園長)
	〃	奥濱 美奈子	(保健センター 母子保健担当)
	〃	小澤 司郎	(市立図書館長)
	〃	北本 奈津子	(子育て支援課 子育て支援担当)
	〃	橋浦 佐和子	(子育て支援センター菅原)

文化財保護審議会

会	長	小林 忠雄
委	員	三浦 純夫
	〃	北 春千代
	〃	木越 隆三
	〃	塩崎 久代

野々市市遺跡調査指導委員会

委	員	長	三浦 純夫	
副	委	員	長	松村 恵司
委		員	川畑 誠	
	〃		梶原 義実	

スポーツ推進審議会

会	長	宮 川 涉
副 会	長	牧 口 茂 子
委	員	濱 田 利 幸
		坂 尻 悦 子
		肥 田 千 春

学校体育施設開放運営委員会

委	員	北 川 雄 三	(野々市中学校)
		南 克 彦	(布水中学校)
		山 本 真 弓	(野々市小学校)
		大 塚 なぎさ	(御園小学校)
		江 戸 佳 野	(菅原小学校)
		上 野 博 枝	(富陽小学校)
		藤 田 真由美	(館野小学校)
		西 村 敬 司	
		堀 川 愛	
		助 光 千恵子	
		柚 本 陽 佑	
		勝 井 幸 太	
		和 田 忠 明	
		塚 弘 子	
		押 田 克 夫	
		竹 山 美恵子	
		今 みな子	

スポーツ推進委員協議会

会	長	西 野 辰 雄
副 会	長	永 井 敏 昌
		一ノ谷 美知子
委	員	安 中 秀 行
		森 岡 孝 之
		亥 野 正 治
		村 田 元 治
		橋 本 逸 郎
		二 口 芳 則
		黒 瀬 千代子
		高 坂 良 恵
		竹 田 優 子
		塚 弘 子
		小 森 朱 那
		阿字地 千 穂
		伊 藤 弓 子
		西 谷 眞須美

市立学校長等

野々市小学校	校長	作田有子	教頭	山本真弓
御園小学校	〃	棟野章	〃	大塚なぎさ
菅原小学校	〃	大野登志文	〃	江戸佳野
富陽小学校	〃	中野淳子	〃	上野博枝
館野小学校	〃	河本隆明	〃	藤田真由美
野々市中学校	〃	石井利幸	〃	北川雄三
布水中学校	〃	松田英樹	〃	南克彦

他市内学校長等

北陸学院扇が丘幼稚園	園長	坂井貴子
青竜第二幼稚園	〃	和田卓也
石川県立野々市明倫高等学校	校長	樋口勝浩
石川県立明和特別支援学校	〃	釜親明子
石川県公立大学法人石川県立大学	学長	西澤直子
国際高等専門学校	校長	ルイス・パークスデール
金沢工業大学	学長	大澤敏

歴代教育長・教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
中島栄治	S 31. 10. 1	S 34. 1. 31	委員長 S 31.10. 1 ~ S 34. 1.31
福田栄正	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	
西村伸一郎	S 31. 10. 1	S 42. 9. 30	委員長 S 34. 2. 1 ~ S 42. 9.30
中川直二	S 31. 10. 1	S 47. 3. 31	委員長 S 42.10. 1 ~ S 47. 3.31
松崎時哉	S 31. 10. 1	S 35. 9. 30	教育長
中山知二	S 32. 10. 1	S 36. 3. 31	
河村好一郎	S 34. 4. 1	S 46. 3. 29	
長田健	S 35. 10. 1	S 37. 10. 28	教育長
小柳正明	S 36. 4. 1	S 47. 3. 9	
竹内保之	S 37. 12. 18	S 46. 12. 16	教育長
中野栄吉	S 42. 10. 1	S 46. 9. 30	
中野久男	S 46. 6. 11	S 59. 9. 30	委員長 S 47. 4. 1 ~ S 51. 9.30
宮前和夫	S 46. 10. 1	S 58. 9. 30	委員長 S 51.10. 1 ~ S 55. 9.30
中田哲	S 46. 12. 24	S 51. 9. 30	教育長
魚住正元	S 47. 3. 10	S 51. 3. 12	
岡田一郎	S 47. 6. 30	S 57. 9. 30	委員長 S 55.10. 1 ~ S 57. 9.30
絹川清	S 51. 3. 12	S 54. 12. 20	
埜谷博	S 51. 10. 1	S 55. 9. 30	教育長 (就任 S 51.10. 7)
宮岸光	S 54. 12. 21	H 6. 5. 26	委員長 S 57.10. 1 ~ S 61. 9.30
東谷弘	S 55. 10. 1	H 8. 9. 30	教育長
坂本六郎	S 57. 10. 1	H 6. 9. 30	委員長 S 61.10. 1 ~ H 2. 9.30

木村 博	S 58. 10. 1	S 62. 9. 30	
高桑 繁	S 59. 10. 1	H 12. 9. 30	委員長 H 2.10. 1 ~ H 6. 9.30
矢野 喜一郎	S 62. 10. 1	H 7. 9. 30	委員長 H 6.10. 1 ~ H 7. 9.30
喜多 禎一	H 6. 6. 20	H 21. 9. 30	委員長 H 7.10. 1 ~ H 11. 9.30
清水 外司英	H 6. 10. 1	H 22. 9. 30	委員長 H 11.10. 1 ~ H 15. 9.30
宮前 定夫	H 7. 10. 1	H 14. 9. 30	
田村 昌俊	H 8. 10. 1	H 16. 9. 30	教育長
北本 正	H 12. 10. 1	H 28. 9. 30	委員長 H 15.10. 1 ~ H 26. 9.30
鶴見 光男	H 14. 10. 1	H 19. 9. 30	
田中 宣	H 16. 10. 1	H 20. 3. 30	教育長
徳田 寿秋	H 19. 10. 1	H 27. 9. 30	
村上 維喜	H 20. 3. 31	H 24. 9. 30	教育長
荻野 直子	H 20. 10. 1	H 30. 9. 30	
中野 恵美子	H 21. 10. 1	H 29. 9. 30	
松野 勝夫	H 22. 10. 1	在任中	委員長 H 26.10. 1 ~ H 28. 9.30
堂坂 雅光	H 24. 10. 1	R 1. 9. 30	教育長
松本 哲幸	H 27. 10. 1	在任中	
宮川 美保子	H 28. 10. 1	在任中	
安嶋 是晴	H 29. 10. 1	在任中	
高桑 奈美	H 30. 10. 1	在任中	
大久保 邦彦	R 1. 10. 1	在任中	教育長

市内施設住所・電話番号一覧

名称	住所	電話番号	名称	住所	電話番号
【公共施設】			㉔ 館野小学校	押野三丁目71番地	248-0622
① 野々市市役所	野々市市三納一丁目1番地	227-6000	㉕ 野々市中学校	三納三丁目1番地	246-0115
① 野々市市教育委員会	〃	227-6111	① 布水中学校	押野二丁目100番地	248-0039
② 野々市市東部浄水場	高橋町3番33号	-	① 県立明和特別支援学校	中林四丁目70番地	246-1133
③ 野々市市南部・北部浄水場	新庄二丁目22番地	-	㉞ 県立野々市明倫高等学校	下林三丁目309番地	246-3191
④ 野々市市文化会館フォルテ	本町五丁目4番1号	248-8000	㉟ 石川県立大学	末松一丁目308番地	227-7220
⑤ 野々市市教育センター	本町四丁目21番27号	248-8456	㊀ 金沢工業大学	扇が丘7番1号	248-1100
⑤ 野々市市少年育成センター	〃	294-8815	㊁ 野々市市中学校給食センター	太平寺三丁目126番地1	246-3066
⑥ 野々市市スポーツセンター	押野二丁目30番地	294-5511	㊂ 野々市市小学校給食センター	〃	248-2090
⑦ にぎわいの里のいちカミーノ	本町二丁目1番20号		【社会福祉施設】		
⑦ 野々市市中央公民館	本町二丁目1番20号(カミーノ内)	248-0521	㊃ 中央保育園	本町三丁目2番22号	248-0240
⑦ 野々市市野々市公民館	〃	〃	㊄ 富奥保育園	中林五丁目30番地	248-0828
⑧ 野々市市富奥公民館 (野々市市富奥防災コミュニティセンター)	中林五丁目3番地22	248-0829	㊅ 押野保育園	押野三丁目115番地	248-0343
⑨ 野々市市郷公民館	田尻町94番地	248-0250	㊆ 野々市市押野児童館	〃	248-9666
⑩ 野々市市押野公民館	押野三丁目70番地	248-2839	㊇ 御経塚保育園	御経塚一丁目288番地	248-0181
⑪ 学びの杜のいちカレード	太平寺四丁目156番地	248-8099	㊈ 幼保連携型認定こども園あわだこども園	栗田五丁目330番地	246-3737
⑫ 末松廃寺収蔵庫	末松二丁目	-	㊉ ほりうちこども園	堀内四丁目160番地	248-2320
⑬ 野々市市ふるさと歴史館	御経塚一丁目182番地	246-3267	㊊ あすなろ保育園	御経塚五丁目30番地	246-0211
⑬ 野々市市埋蔵文化財収蔵庫	〃	246-0133	㊋ はくさん保育園	白山町4番2号	248-4337
⑭ 野々市市郷土資料館	本町三丁目19番24号	246-2672	㊌ 幼保連携型認定こども園和光	扇が丘15番5号	248-6250
⑮ 野々市市武道館	位川183番地	246-4985	㊍ つばき保育園	太平寺一丁目302番地	248-1155
⑯ 野々市市民体育館	下林三丁目97番地	248-1223	㊎ 子育て支援センター菅原	菅原町8番33号	248-4634
⑰ 野々市中央公園テニスコート	〃	〃	㊏ 幼保連携型認定こども園エンジェル保育園	本町六丁目22番1号	248-2888
⑱ 野々市中央公園運動広場	〃	〃	㊐ ふじひら保育園	藤平142番地	246-1181
⑲ 野々市市相撲場	〃	〃	㊑ 野々市市保健センター	三納三丁目128番地	248-3511
⑳ 野々市市民野球場	〃	〃	㊒ 野々市市社会福祉協議会	本町五丁目18番5号	246-0112
㉑ 愛と和のギャラリーのいち椿館	下林三丁目	-	㊓ 野々市市老人福祉センター椿荘	矢作三丁目1番地2	246-5570
㉒ 野々市市弓道場	太平寺三丁目128番地	248-1223	㊔ 野々市市中央児童館	〃	248-5325
㉓ 野々市市健康広場	上林一丁目180番地	〃	㊕ 発達相談センター	菅原町8番33号	248-1333
㉔ 野々市市スポーツランド	中林五丁目1番地1	294-5800	㊖ 野々市市本町児童館	本町三丁目10番12号	246-3881
㉕ 押野中央公園運動広場	押野一丁目339番地	248-1223	㊗ 野々市市女性センター	稲荷四丁目155番地	246-0810
㉖ 野々市市交遊舎	二日市一丁目2番地	294-8166	㊘ 石川県百々鶴荘	上林一丁目179番地	248-4775
㉗ 白山警察署野々市交番	本町六丁目22番2号	248-0059	㊙ セルプはくさん	末松二丁目229番地	248-9300
㉘ 白山警察署野々市南交番	藤平138番地1	294-1500	㊚ 石川障害者職業能力開発校	末松二丁目245番地	248-2235
㉙ 白山警察署野々市北交番	二日市三丁目7番地	248-0125	㊛ サニーメイト福祉工場	末松二丁目239番地	248-0294
㊀ 白山野々市広域消防本部野々市消防署	本町五丁目17番8号	248-9119	㊜ としよりと子供の健康ひろば	上林二丁目185番地	246-0130
㊁ J R野々市駅	二日市三丁目1番地	248-0100	㊝ ときわ病院	中林四丁目123番地	248-5221
㊂ 野々市市シルバー人材センター	白山町8番15号	294-8303	㊞ けやき野苑	中林一丁目1番地1	248-4871
㊃ 野々市市防災コミュニティセンター	本町一丁目2番50号	-	㊟ 特別養護老人ホーム富樫苑	中林四丁目62番地	248-8765
㊄ ののいちし地域安全センター	扇が丘97番地6	248-3412	㊠ いきがいセンター矢作	矢作三丁目2番地10	246-2007
㊅ 喜多家住宅	本町三丁目8番11号	248-1160	㊡ いきがいセンター御経塚	御経塚一丁目38番地	248-2231
【学校施設】			㊢ ふじひら児童館	藤平146番地	214-6125
㊆ 北陸学院扇が丘幼稚園	本町五丁目6番23号	248-1501	㊣ アリスこども園	二日市五丁目332番地	294-2525
㊇ 青竜第二幼稚園	上林三丁目167番地	248-5656	㊤ つばきの郷児童館	二日市五丁目333番地	248-2111
㊈ 野々市小学校	本町五丁目3番1号	248-0084	㊦ ヴィテンSMC保育園	横宮町67番地9	248-6210
㊉ 御園小学校	稲荷四丁目128番地	248-3201	㊧ 幼保連携型認定こども園美郷保育園	郷一丁目102番地	246-3320
㊊ 菅原小学校	菅原町20番1号	246-6066	㊨ 認定こども園ほのみこども園	新庄三丁目145番地	248-7000
㊋ 富陽小学校	中林五丁目70番地	246-4380	㊩ なごみこども園	押野一丁目352番地	248-3000

